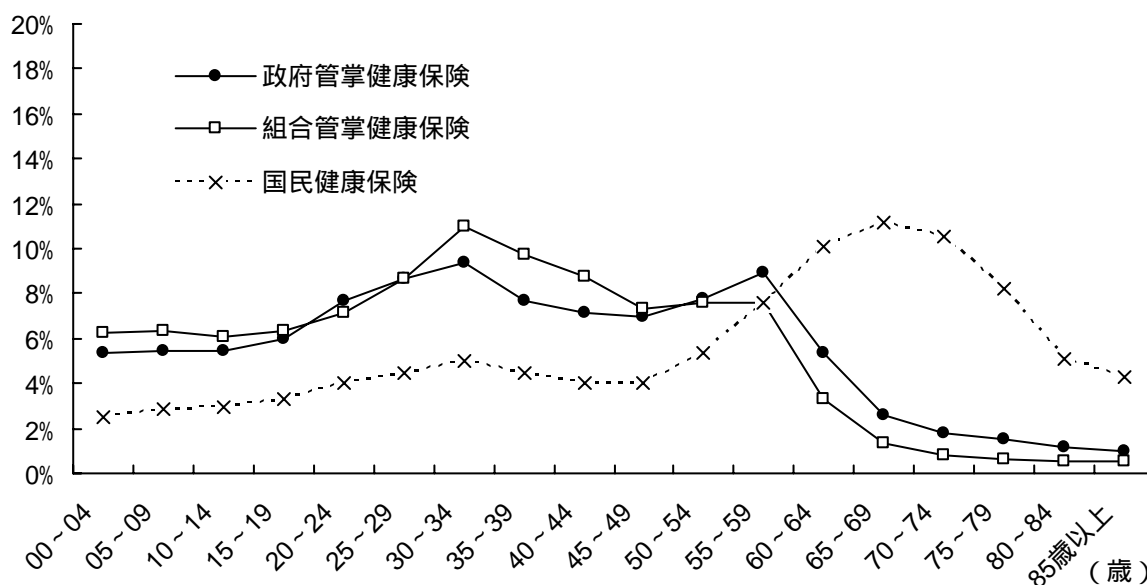


3 保険者種別ごとにみた医療費の比較分析

(1) 保険者種別ごとにみた各保険者の特性

平成 17 年度の政府管掌健康保険、組合管掌健康保険、国民健康保険の年齢階層別の加入者数構成割合をみると、政府管掌健康保険並びに組合管掌健康保険では「30～34 歳」の年齢階層でピークがみられるように若年層の割合が多い一方で、国民健康保険では「65～69 歳」においてピークとなり、高齢層の割合が多い。65 歳以上の高齢者の割合はそれぞれ、8.0%、3.9%、39.3%となり、国民健康保険における高齢者比重の大きさを示している。

図表 3-1-1 年齢階層別構成割合の保険者種別比較

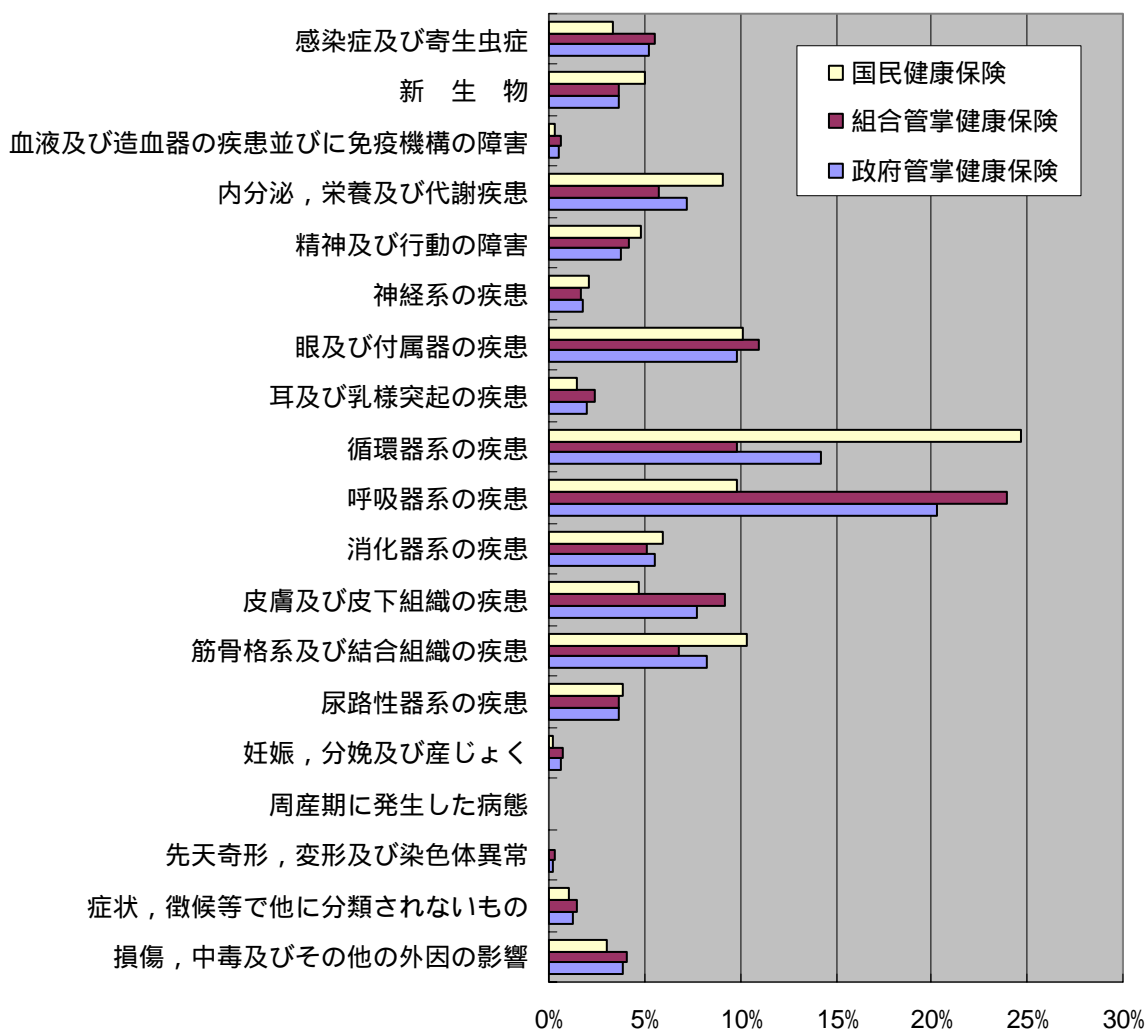


出典：『国民健康保険実態調査報告（平成 17 年度）』（厚生労働省）

『健康保険被保険者実態調査報告（平成 16 年 10 月）』（厚生労働省）

さらに、政府管掌健康保険、組合管掌健康保険、国民健康保険の医科診療件数について疾病大分類別構成割合をみると、前述の年齢構成割合を反映して、政府管掌健康保険並びに組合管掌健康保険では「呼吸器系の疾患」の割合が多い一方で、国民健康保険では「循環器系の疾患」の構成割合が多くなっている。

図表 3-1-2 医科診療件数の疾病大分類別構成割合の保険者種別比較

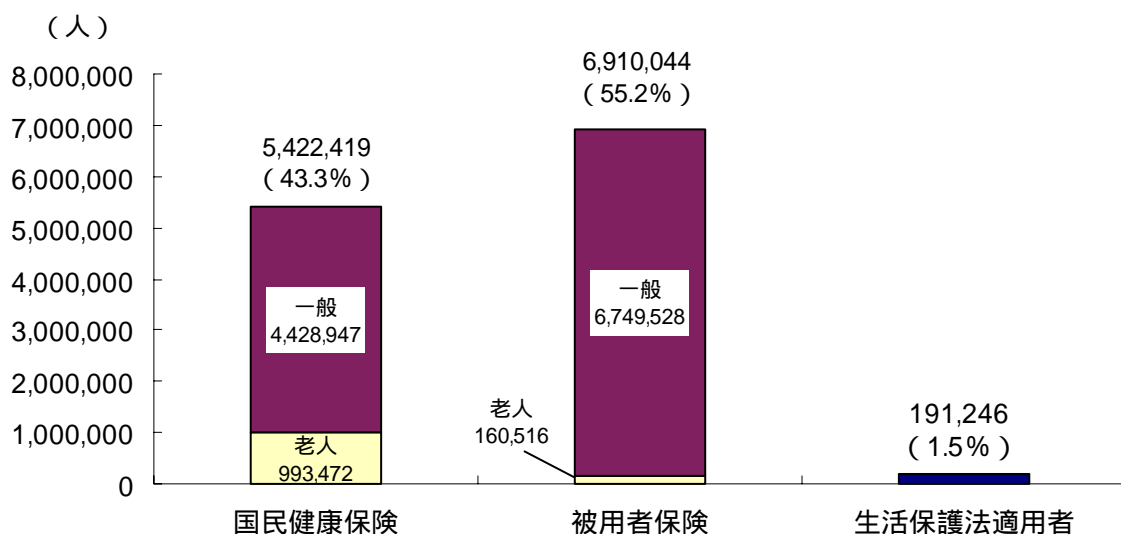


出典：『平成 17 年社会医療診療行為別調査』（厚生労働省）

(2) 東京都における保険者種別構成

平成 17 年度の東京都における保険者種別加入者数をみると、国民健康保険への加入者数が 5,422,419 人(全体の 43.3%)、生活保護法適用者数は 191,246 人(同 1.5%)、都内人口(12,523,709 人)からこれらの値を差し引くと被用者保険への加入者数は 6,910,044 人(同 55.2%)と推計される。

図表 3-2-1 東京都における保険者種別加入者数の構成



出典等：以下のデータから推計

- 1) 都内人口は平成 17 年 4 月 1 日現在。住民基本台帳による人口に外国人登録を加えた数。出典：『世帯と人口』
- 2) 国民健康保険(区市町村及び国保組合)の加入者数及び老人保健医療給付対象者数は平成 17 年度末現在。出典：『国民健康保険事業状況』
- 3) 生活保護適用者数は平成 17 年度月平均。出典：『福祉衛生統計年報』
- 4) 老人保健医療給付対象者(都内合計)は平成 17 年度平均。出典：『老人医療事業年報』

なお、都に在住する被用者保険加入者の保険種別(組合健保、政管健保、共済組合など)別人数は把握できない。

東京都における保険者種別加入者数の状況は前述のとおりであるが、被用者保険では加入者の住所地別医療費データを把握していないため、国民健康保険のようなデータ把握ができない。

そこで、本医療費分析に当たり、保険者種別ごとの特性を把握するため、下記のとおり2つの被用者保険（以下「A 共済、B 健保」という。）から医療費分析に当たり必要なデータ提供の協力をいただいた。

このデータを用いて、国保（東京都）とA 共済、B 健保について比較分析を行い、医療費の状況を把握した。

（3） 個別保険者の概況

- 個別被用者保険の加入者数を比較すると、国保は約 558 万 7 千人となっている。
- A 共済が約 26 万 8 千人、B 健保が約 11 万 6 千人であり、被保険者と被扶養者の構成は、それぞれA 共済が約 50%と約 50%、B 健保が約 47%と約 53%となっている。

	国保(東京都)	A 共済組合	B 健保組合
加入者数	5,587,228 人	267,647 人	115,617 人
被保険者		136,477 人	54,522 人
被扶養者		131,170 人	61,095 人
レセプト件数	4,376,664 件	14,032 件	61,328 件
入院	126,362 件	190 件	1,049 件
入院外	4,250,302 件	13,842 件	60,279 件
日数	10,273,057 日	24,368 日	118,068 日
入院	2,021,307 日	1,844 日	12,142 日
入院外	8,251,750 日	22,554 日	105,926 日
医療費	111,737,694,770 円	207,510,720 円	1,021,496,120 円
入院	56,494,330,840 円	75,668,180 円	427,200,050 円
入院外	55,243,363,930 円	131,842,540 円	594,296,070 円

注1 国保(東京都)の出典:『疾病別医療費分析システム 2006 年 11 月』(東京都国民健康保険団体連合会)。区市町村国保及び国保組合(都内在住者分)の合計データを使用。

2 国保(東京都)、B 健保組合:平成 18 年 11 月診療分(12 月審査分)の疾病別医療費データ、平成 18 年 11 月末日現在の加入者数データを使用。

3 A 共済組合:平成 18 年 5 月診療分(6 月審査分)の 10%無作為抽出の疾病別医療費データ(老人保健制度の対象者を除く加入者のデータ)、平成 18 年 5 月末日現在の加入者数データを使用

4 太枠・斜線の値については 10%無作為抽出データを基に算出。分析ではこの値を 10 倍したものを使用。

(参考)

・ A 共済組合の概況

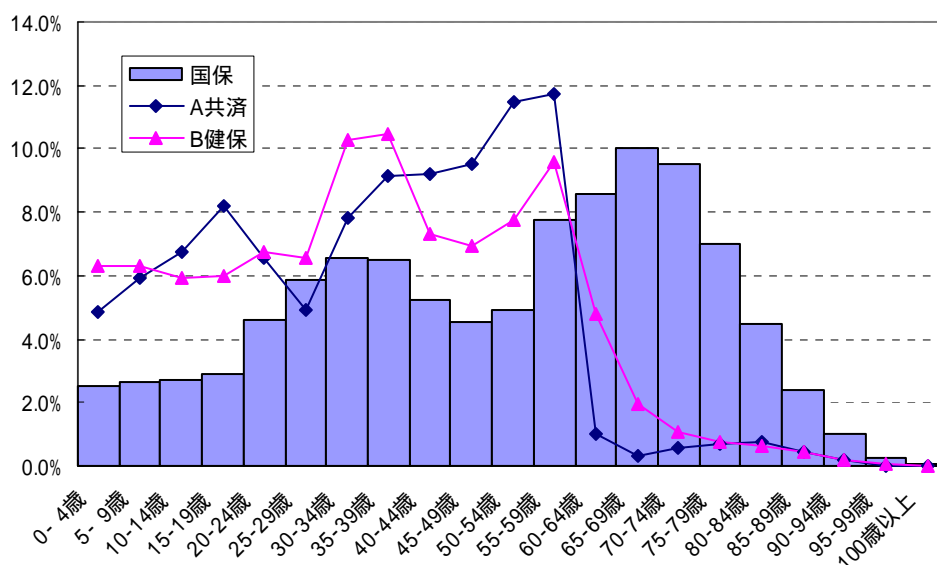
業態等	地方公務員共済組合
平均年齢(組合員)	43.5歳(平成19年4月1日現在 任意継続組合員を除く)
構成団体数	約30団体
加入者の都内居住状況	都内居住割合 約62% (埼玉県 約17%、千葉県 約10%、神奈川県 約7%)

・ B 健保組合の概況

業態等	総合組合 / 「その他の事業」(電気・ガス・水道・電設)
平均年齢(被保険者)	42.6歳
適用事業所数	約1000
事業所の都内所在割合	都内 約950事業所(約95%) / 都外 約50事業所(約5%)
被保険者規模別事業所数	20人未満 650事業所(約65%) 20人以上50人未満 180事業所(約18%)
加入者の都内居住状況	都内居住割合 約26.8%(本人ベース) (埼玉県 15.6%、千葉県 12.0%、神奈川県 12.8%、大阪3.1%) 扶養率 1.12

- 年齢階級別に個別被用者保険の人数構成を比較すると、国保では65-75歳が最も多く、次いで30代が多くなっている。
- A共済では、50代が最も多く、次いで15-20歳にピークがあり、55-59歳を境に大きく減少している。
- B健保では、30代が最も多く、次いで55-59歳にピークがあり、55-59歳を境に大きく減少している。

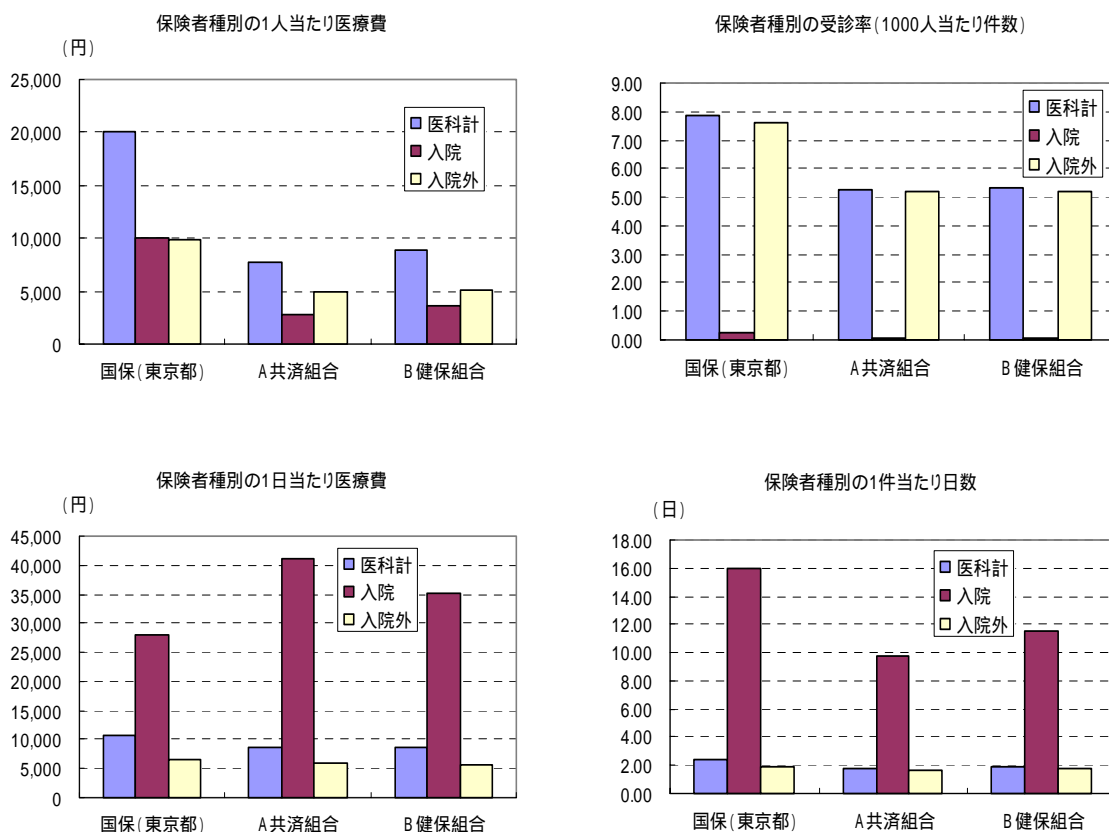
図表 3-3-1 国保・A共済・B健保の年齢階級別人数構成の比較



(4) 医療費諸率

- 個別被用者保険の1人あたり医療費を比較すると、国保では1人あたり入院医療費、1人あたり入院外医療費は同程度となっている。A共済、B健保は共に1人あたり入院外医療費が1人あたり入院医療費を上回っている。
- 個別被用者保険の受診率(1000人あたり件数)、1日あたり医療費、1件あたり日数を比較すると、いずれも国保はA共済、B健保に比べて高くなっている。
- 入院についてA共済とB健保を比較すると、受診率は両者とも同程度となっているものの、1日あたり医療費はA共済の方が高く、1件あたり日数はB健保の方が高くなっている。

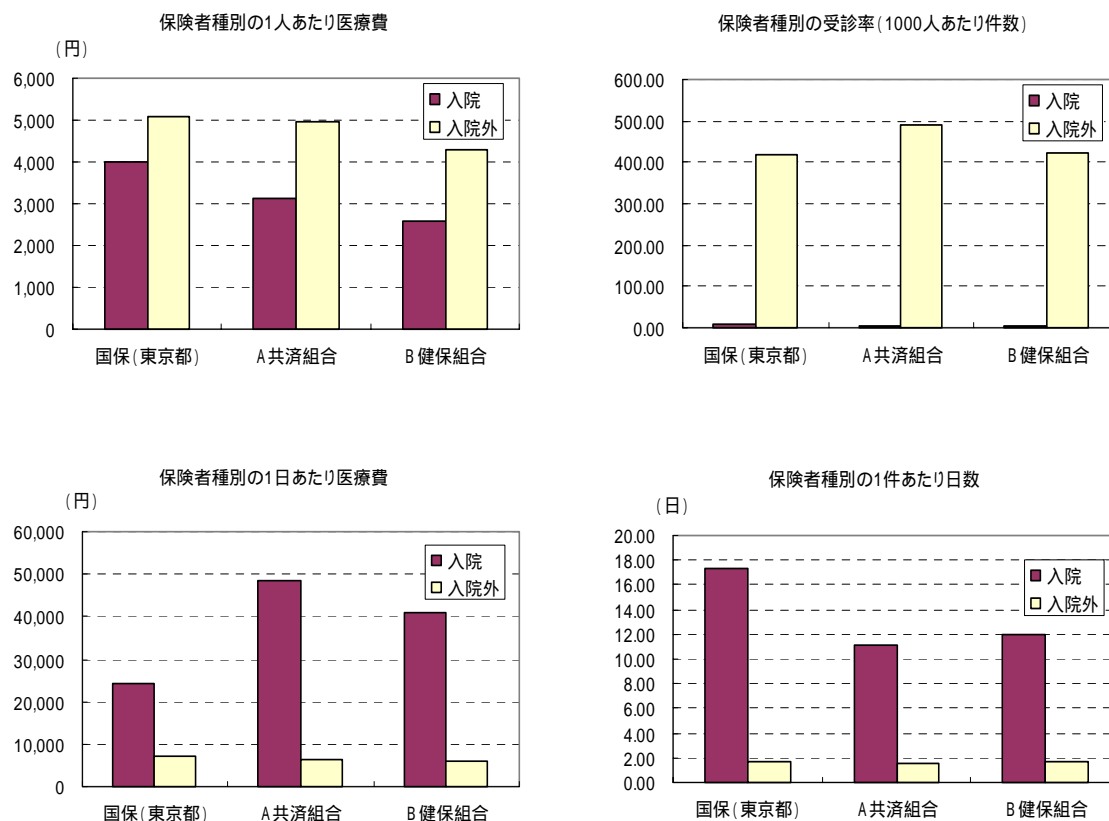
図表 3-4-1 国保・A共済・B健保の医療費諸率の比較



【40 歳代】

- 40 歳代の個別被用者保険の 1 人あたり医療費を比較すると、いずれの保険者においても 1 人あたり入院外医療費が 1 人あたり入院医療費を上回っている。入院医療費、入院外医療費共に国保が最も高く、次いで A 共済、B 健保となっている。
- 入院について国保、A 共済、B 健保を比較すると、受診率（1000 人あたり件数）は国保がやや高くなっている。1 日あたり医療費は A 共済、B 健保が高く、1 件あたり日数は国保が高くなっている。
- 入院外について国保、A 共済、B 健保を比較すると、受診率は A 共済が高く、国保、B 健保は同程度となっている。1 日あたり医療費、1 件あたり日数は三者とも同程度となっている。

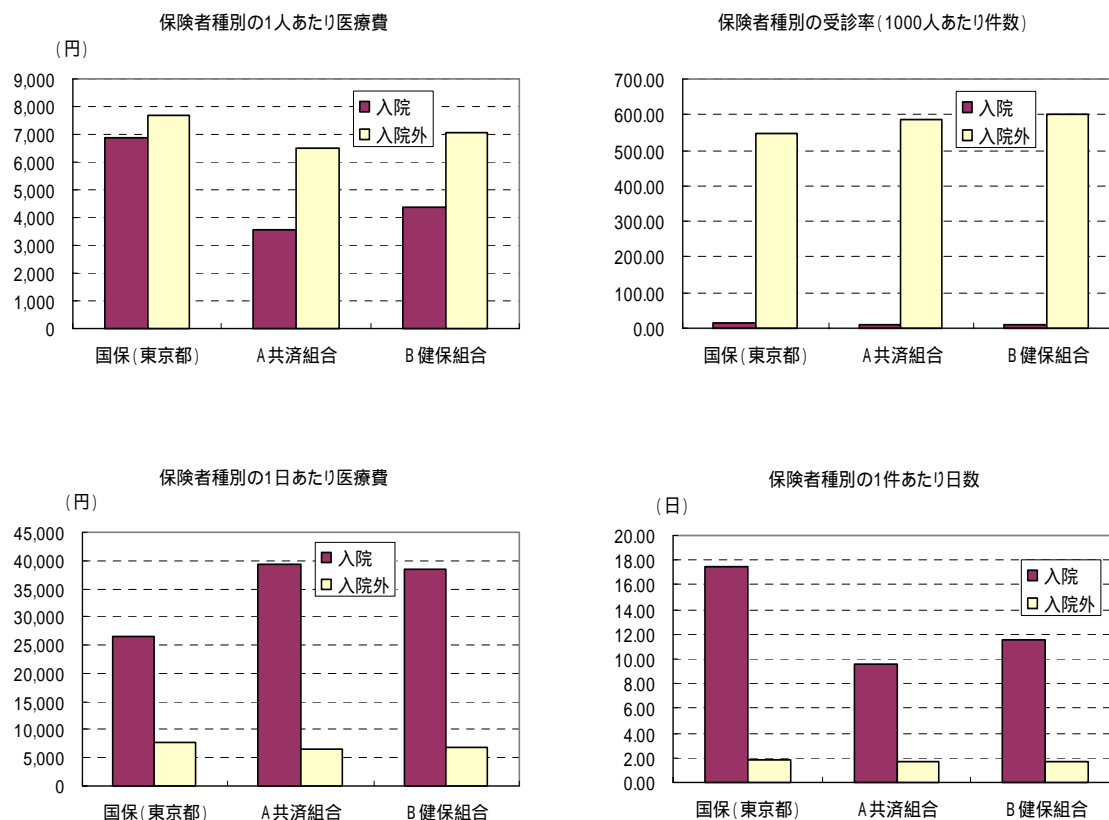
図表 3-4-2 40-49 歳の国保・A 共済・B 健保の医療費諸率の比較



【50 歳代】

- 50 歳代の個別被用者保険の 1 人あたり医療費を比較すると、いずれの保険者においても 1 人あたり入院外医療費が 1 人あたり入院医療費を上回っている。入院医療費、入院外医療費共に国保が最も高く、次いで B 健保、A 共済となっている。
- 入院について国保、A 共済、B 健保を比較すると、受診率（1000 人あたり件数）は国保がやや高くなっている。1 日あたり医療費は A 共済、B 健保が高く、1 件あたり日数は国保が高くなっている。
- 入院外について国保、A 共済、B 健保を比較すると、受診率は B 健保、A 共済が高くなっている。1 日あたり医療費、1 件あたり日数は三者とも同程度となっている。

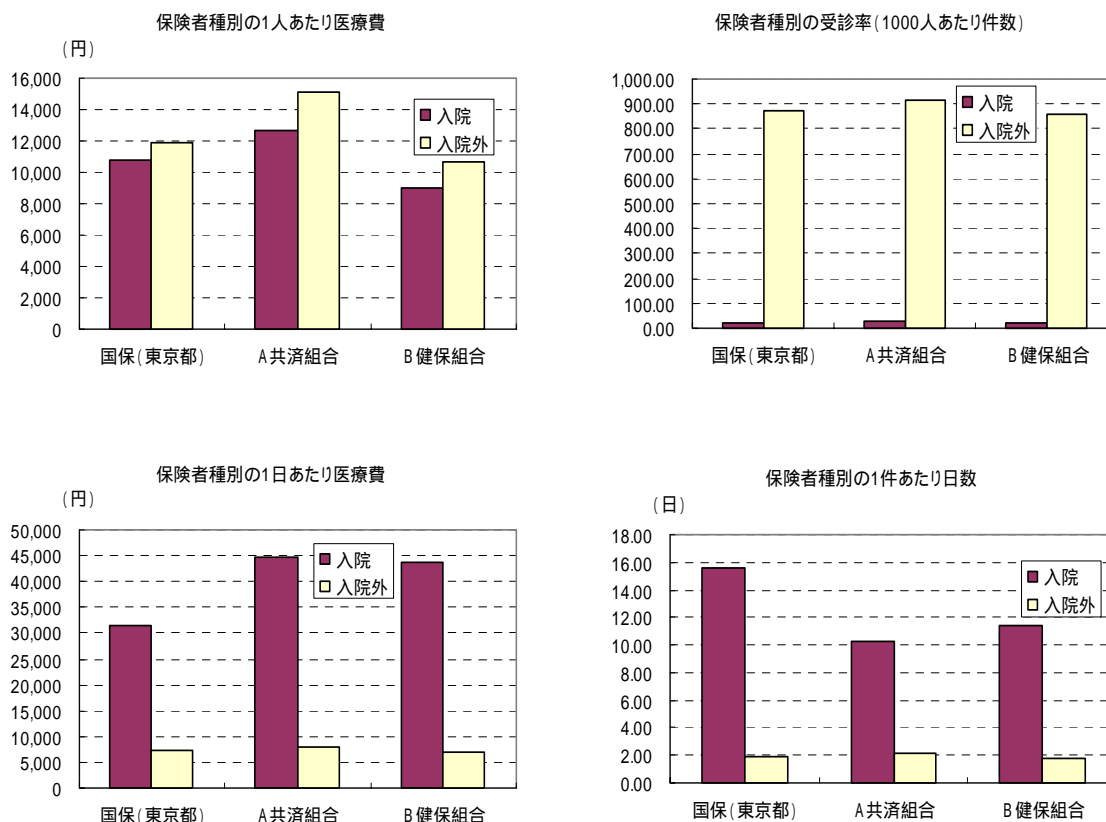
図表 3-4-3 50-59 歳の国保・A 共済・B 健保の医療費諸率の比較



【60 歳代】

- 60 歳代の個別被用者保険の 1 人あたり医療費を比較すると、いずれの保険者においても 1 人あたり入院外医療費が 1 人あたり入院医療費を上回っている。入院医療費、入院外医療費共に A 共済が最も高く、次いで国保、B 健保となっている。
- 入院について国保、A 共済、B 健保を比較すると、受診率（1000 人あたり件数）は A 共済がやや高くなっている。1 日あたり医療費は A 共済、B 健保が高く、1 件あたり日数は国保が高くなっている。
- 入院外について国保、A 共済、B 健保を比較すると、受診率は A 共済が高くなっている。1 日あたり医療費、1 件あたり日数は三者とも同程度となっている。

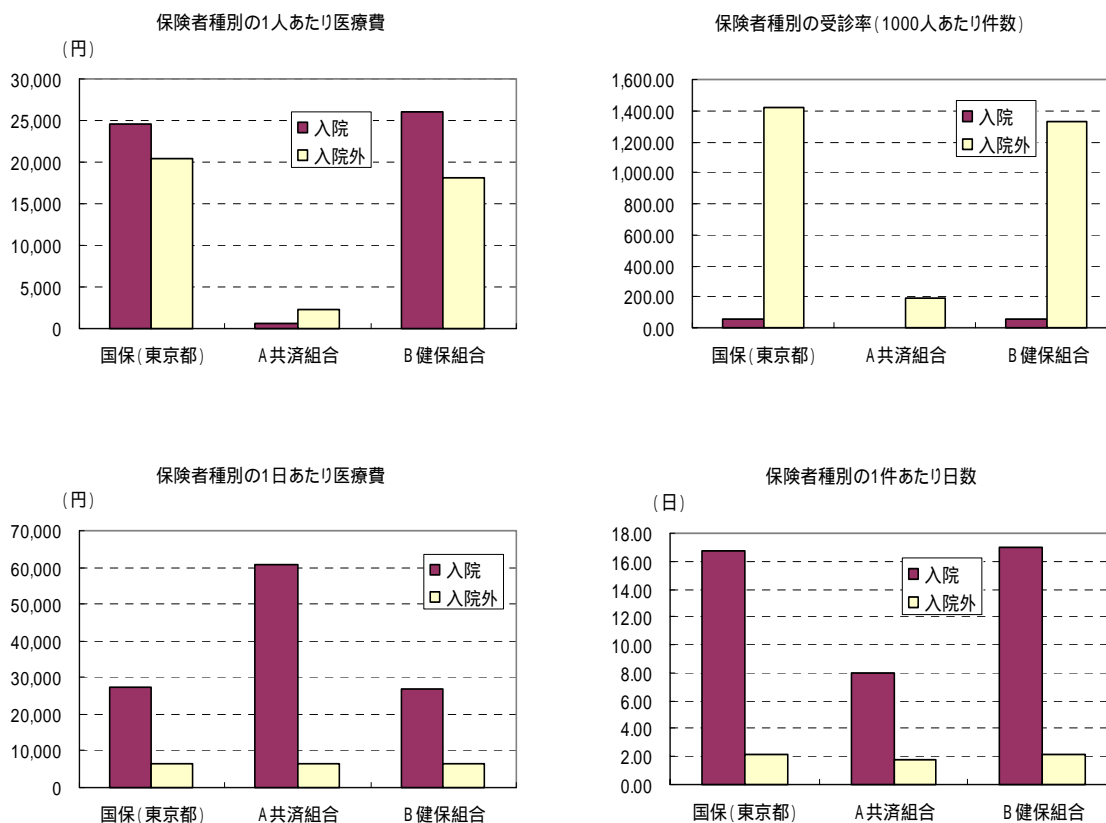
図表 3-4-4 60-69 歳の国保・A 共済・B 健保の医療費諸率の比較



【70 歳代】

- 70 歳代の個別被用者保険の 1 人あたり医療費を比較すると、いずれの保険者においても 1 人あたり入院医療費が 1 人あたり入院外医療費を上回っている。入院医療費は、B 健保が最も高く、次いで国保、A 共済となっている。入院外医療費は国保が最も高く、次いで B 健保、A 共済となっている。ただし、被用者保険（A 共済、B 健保）の件数自体が少ないため、この結果をもって 70 歳代の特徴とするには留意が必要である。
- 入院について国保、A 共済、B 健保を比較すると、受診率（1000 人あたり件数）は B 健保、国保が高くなっている。1 日あたり医療費は A 共済が高く、1 件あたり日数は B 健保、国保が高くなっている。
- 入院外について国保、A 共済、B 健保を比較すると、受診率は国保、B 健保が高くなっている。1 日あたり医療費、1 件あたり日数は三者とも同程度となっている。

図表 3-4-5 70 歳以上の国保・A 共済・B 健保の医療費諸率の比較



以上のように、保険者種別ごとに医療費諸率の比較を行ったが、次のようなことがいえるものと考えられる。

「保険者種別の医療費諸率の比較」

【医療費諸率の特徴】

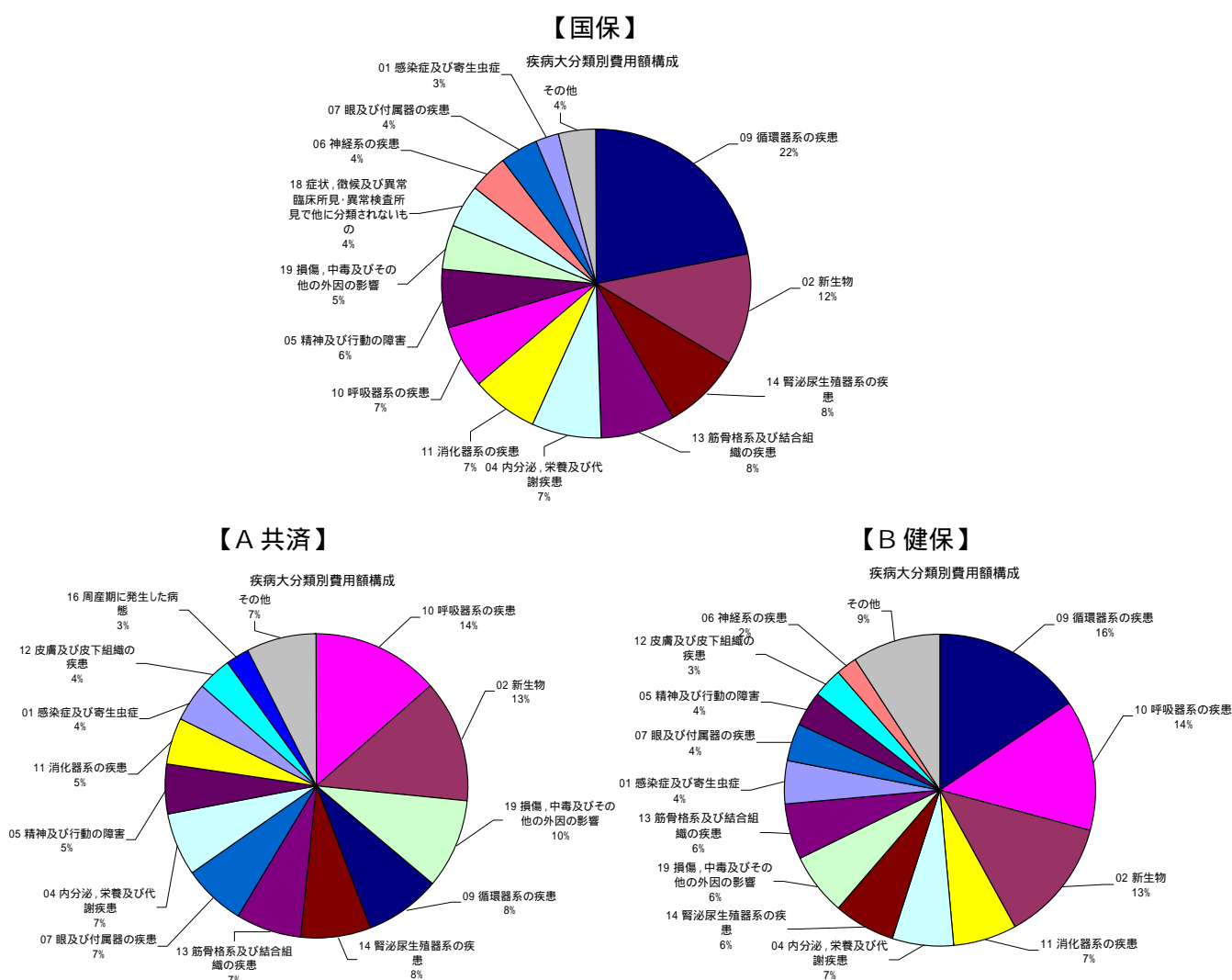
- ・ 国保は年齢構成において高齢者の割合が多いことを反映して、全体として1人当たり医療費が共済、健保に比べて高くなっている。
- ・ さらに、年齢階層別にみると、40歳代、50歳代において、国保の1人当たり入院医療費は共済、健保に比べて高くなっているが、1日当たり医療費が共済、健保よりも低く、1件当たり日数が長くなっている傾向にあり、この年代の国保加入者の疾病構造が強く影響しているものと推測される。

(5) 疾病構造

疾病大分類別にみた概況

- 疾病大分類別のレセプト医療費の構成をみると、国保は「循環器系疾患」が最も多く、全体の2割強を占めている。次いで、「新生物」「腎泌尿生殖器系」の疾患が上位にある。
- A共済では「呼吸器系疾患」が、B健保では「循環器系疾患」が最も多く、全体の15%を占めている。ついで、「新生物」が10%強を占めて上位にある。

図表 3-5-1 医療費の構成(平成18年1ヶ月診療分 医科医療費)

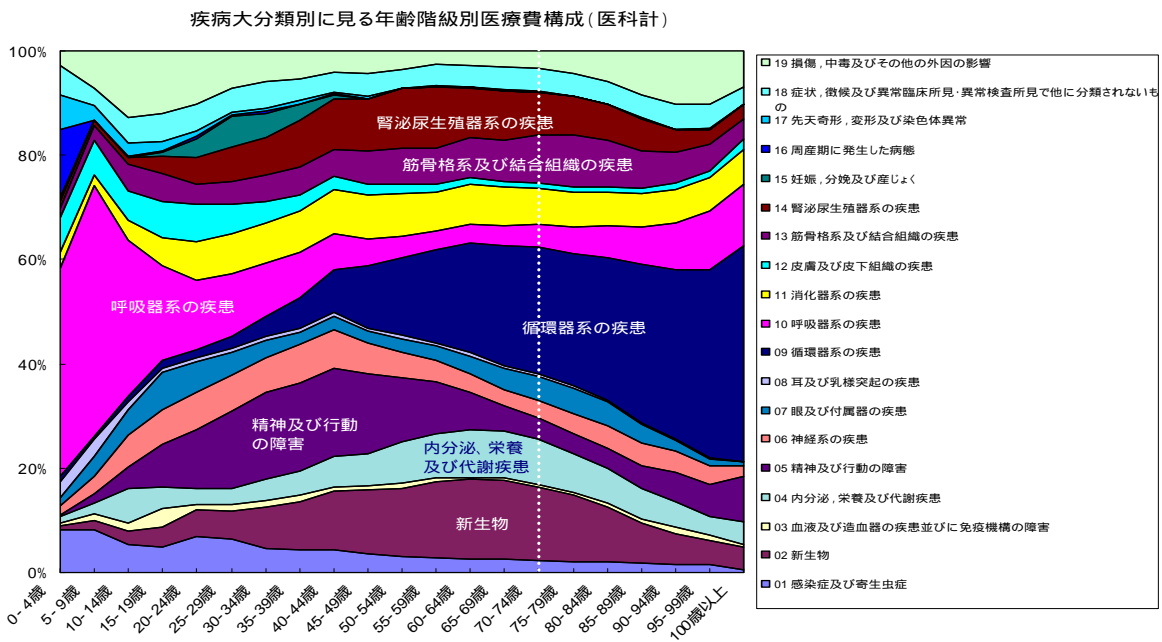


国保及び B 健保の医療費データは平成 18 年 11 月診療分、A 共済は同年 5 月診療分と診療月が異なるため、「平成 18 年 1 ヶ月診療分」と表記している。

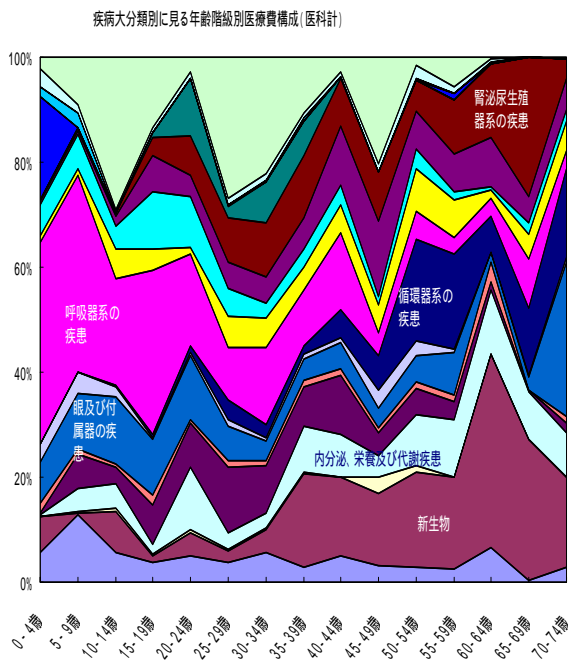
- 年齢階級別に疾病大分類別の医療費の構成をみると、国保、A共済、B健保のいずれの保険者でも、若年層において「呼吸器系の疾患」の医療費が多く、加齢に伴って「循環器系の疾患」「新生物」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「腎泌尿生殖器系の疾患」「精神及び行動の障害」が増加してくる傾向にある。

図表 3-5-2 年齢階級別にみた医療費の構成(平成18年1ヶ月診療分 医科医療費)

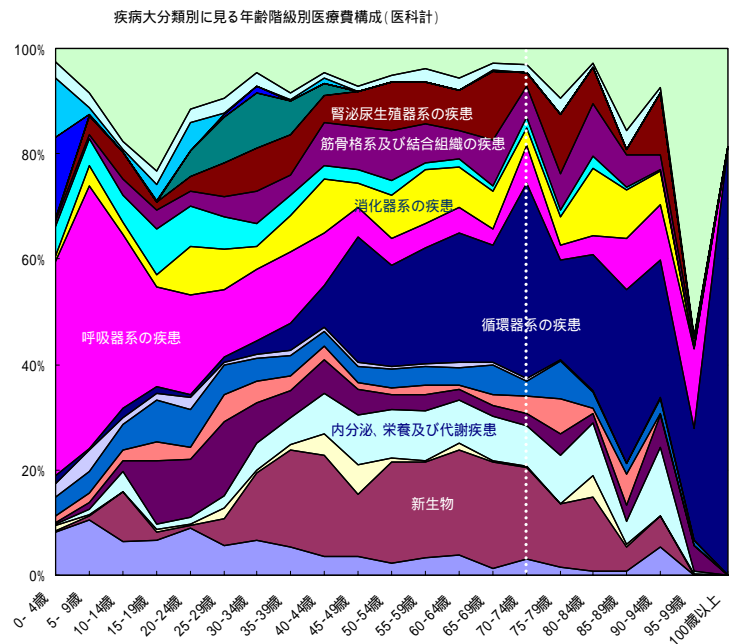
【国保】



【A 共済】



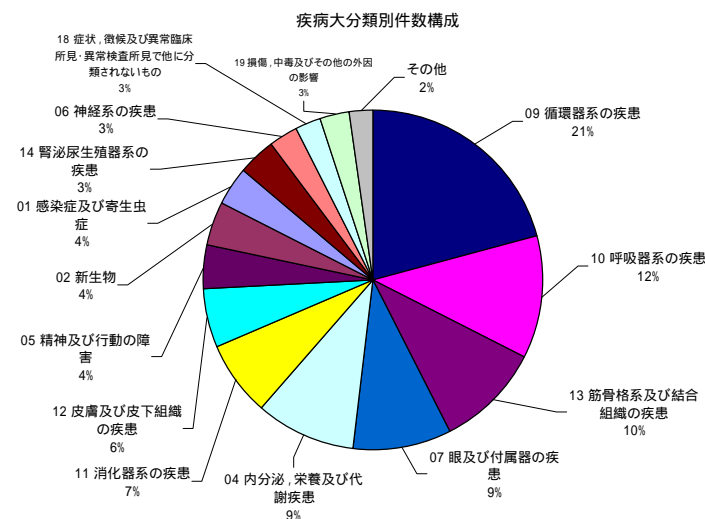
【B 健保】



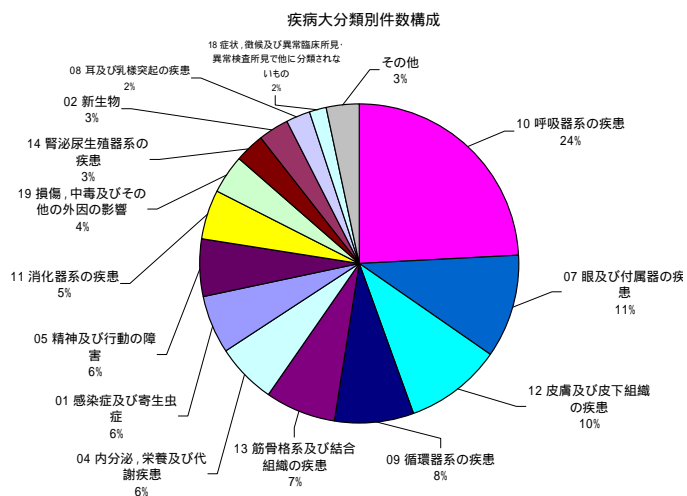
- 病大分類別のレセプト件数の構成をみると、国保は「循環器系疾患」が最も多く、全体の2割強を占めている。次いで、「呼吸器系」「筋骨格系」が上位にある。
- A共済、B健保は共に「呼吸器系疾患」が最も多く、全体の25%を占めている。「眼及び付属器の疾患」「循環器系の疾患」「皮膚及び皮下組織の疾患」の疾患がそれぞれ全体の10%前後を占めて上位にある。

図表 3-5-3 件数の構成(平成18年1ヶ月診療分 医科レセプト件数)

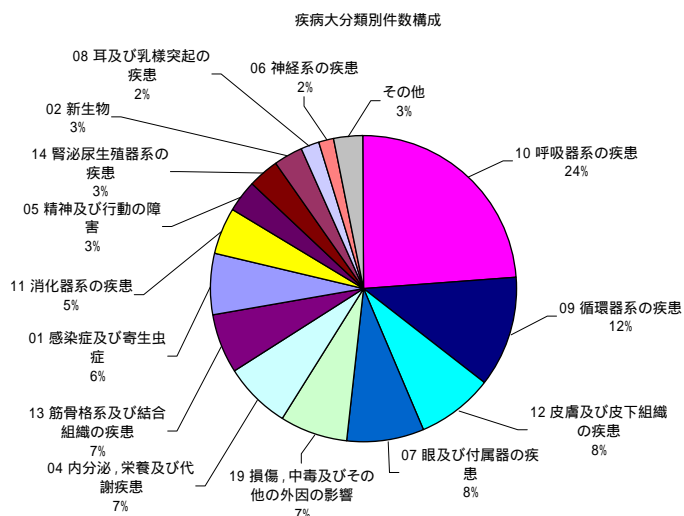
【国保】



【A共済】



【B健保】

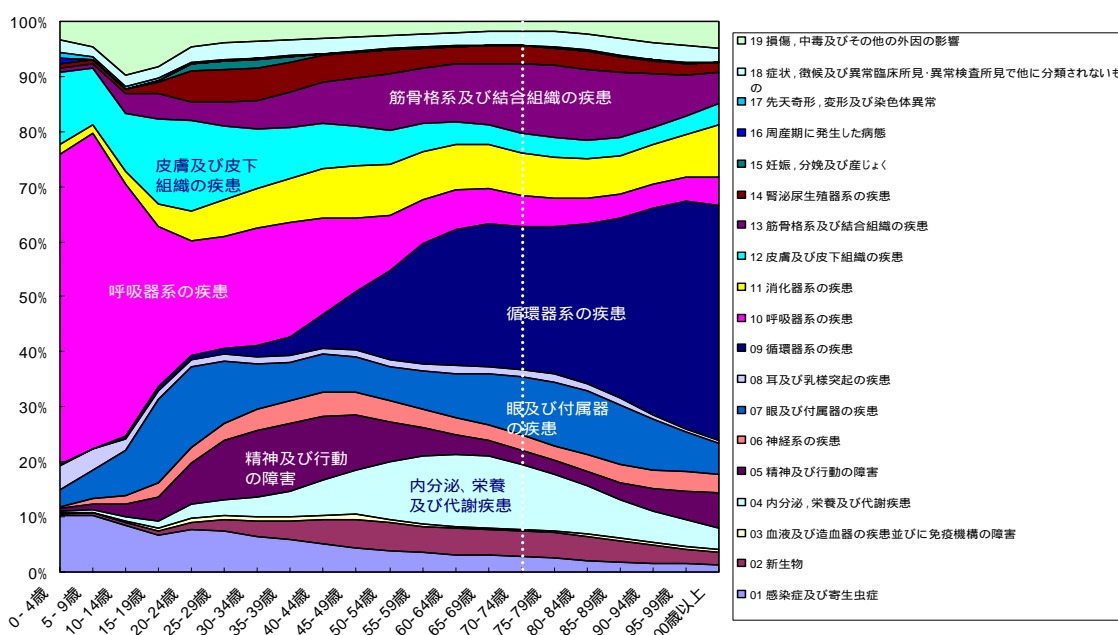


- 年齢階級別に疾病大分類別の件数の構成をみると、国保、A共済、B健保のいずれの保険者でも、若年層において「呼吸器系の疾患」「皮膚及び皮下組織の疾患」の件数が多く、加齢に伴って「循環器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」が増加してくる傾向にある。

図表 3-5-4 年齢階級別にみた件数の構成(平成18年1ヶ月診療分 医科レセプト件数)

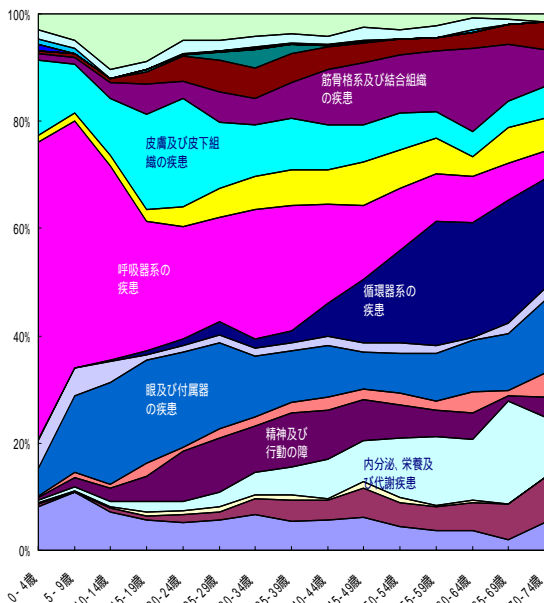
【国保】

疾病大分類別に見る年齢階級別件数構成(医科計)



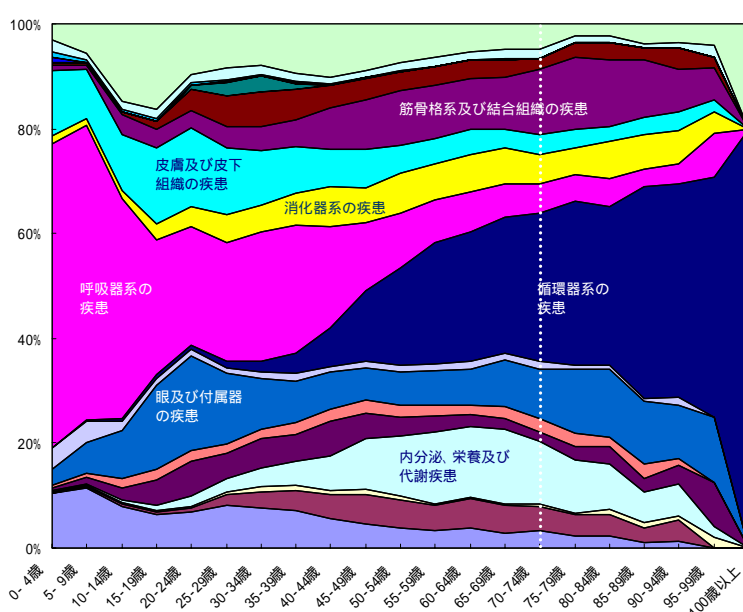
【A 共済】

疾病大分類別に見る年齢階級別件数構成(医科計)



【B 健保】

疾病大分類別に見る年齢階級別件数構成(医科計)



疾病中分類別にみた概況

- 疾病中分類の 119 疾病のうち、中分類別医療費の上位 15 疾病の医療費をみると、国保、A 共済、B 健保のいずれの保険者でも「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「腎不全」や「糖尿病」が続いている。生活習慣病関連の疾患 が上位になる傾向がある。「糖尿病」、「腎不全」、「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」等には、生活習慣病に分類されない疾病も含まれている。

図表 3-5-5 医療費ランキング(平成18年1ヶ月診療分 医科医療費)

【国保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	医療費(円)	医療費占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	8,842,803,180	7.9%
2	14 腎泌尿生殖器系の疾患	1402 腎不全	6,542,434,750	5.9%
3	18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,881,726,220	4.4%
4	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	4,877,138,240	4.4%
5	09 循環器系の疾患	0906 脳梗塞	4,027,833,620	3.6%
6	02 新生物	0210 その他の悪性新生物	3,990,279,580	3.6%
7	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	3,659,257,640	3.3%
8	09 循環器系の疾患	0903 その他の心疾患	3,545,992,100	3.2%
9	05 精神及び行動の障害	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	3,406,789,760	3.0%
10	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	3,176,538,800	2.8%
11	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1901 骨折	3,157,453,960	2.8%
12	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	2,808,881,890	2.5%
13	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	2,307,539,130	2.1%
14	06 神経系の疾患	0606 その他の神経系の疾患	2,235,657,040	2.0%
15	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1302 関節症	1,912,259,420	1.7%

【A 共済】

NO	疾病大分類	疾病中分類	医療費(円)	医療費占有率
1	14 腎泌尿生殖器系の疾患	1402 腎不全	120,476,900	5.8%
2	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	116,536,600	5.6%
3	02 新生物	0210 その他の悪性新生物	112,575,300	5.4%
4	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	76,619,500	3.7%
5	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	74,610,800	3.6%
6	10 呼吸器系の疾患	1003 その他の急性上気道感染症	66,491,100	3.2%
7	10 呼吸器系の疾患	1010 喘息	65,014,600	3.1%
8	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	60,280,800	2.9%
9	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	51,966,300	2.5%
10	02 新生物	0211 良性新生物及びその他の新生物	51,519,000	2.5%
11	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1901 骨折	51,036,400	2.5%
12	16 周産期に発生した病態	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	46,251,800	2.2%
13	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	44,175,300	2.1%
14	02 新生物	0206 乳房の悪性新生物	43,574,700	2.1%
15	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	43,102,200	2.1%

【B 健保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	医療費(円)	医療費占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	58,166,840	5.7%
2	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	39,603,900	3.9%
3	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	37,918,650	3.7%
4	02 新生物	0210 その他の悪性新生物	36,768,810	3.6%
5	02 新生物	0211 良性新生物及びその他の新生物	36,150,520	3.5%
6	14 腎泌尿生殖器系の疾患	1402 腎不全	36,003,020	3.5%
7	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	29,845,770	2.9%
8	10 呼吸器系の疾患	1010 喘息	28,730,910	2.8%
9	10 呼吸器系の疾患	1003 その他の急性上気道感染症	26,994,860	2.6%
10	09 循環器系の疾患	0903 その他の心疾患	25,713,230	2.5%
11	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	24,629,330	2.4%
12	09 循環器系の疾患	0906 脳梗塞	23,009,260	2.3%
13	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1901 骨折	22,253,370	2.2%
14	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	22,082,970	2.2%
15	18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	20,649,610	2.0%

- 疾病中分類の119疾病のうち、中分類別医療費の上位15疾病のレセプト件数をみると、国保は、「高血圧性疾患」が最も多く、「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」や「糖尿病」が続いている。生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- A共済、B健保は、いずれも「高血圧性疾患」「その他の急性上気道感染症」が多く、「皮膚炎及び湿疹」「喘息」が続いている。

図表 3-5-6 件数ランキング(平成18年1ヶ月診療分 医科レセプト件数)

【国保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	件数	件数占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	633,715	14.5%
2	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	192,612	4.4%
3	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	188,701	4.3%
4	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	146,484	3.3%
5	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	134,061	3.1%
6	10 呼吸器系の疾患	1003 その他の急性上気道感染症	132,383	3.0%
7	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	125,766	2.9%
8	07 眼及び付属器の疾患	0703 屈折及び調節の障害	117,600	2.7%
9	18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	114,943	2.6%
10	07 眼及び付属器の疾患	0702 白内障	107,782	2.5%
11	11 消化器系の疾患	1105 胃炎及び十二指腸炎	105,025	2.4%
12	10 呼吸器系の疾患	1010 喘息	104,689	2.4%
13	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1302 関節症	91,086	2.1%
14	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	90,276	2.1%
15	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	90,011	2.1%

【A共済】

NO	疾病大分類	疾病中分類	件数	件数占有率
1	10 呼吸器系の疾患	1003 その他の急性上気道感染症	10,400	7.4%
2	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	8,370	6.0%
3	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	8,330	5.9%
4	07 眼及び付属器の疾患	0703 屈折及び調節の障害	7,350	5.2%
5	10 呼吸器系の疾患	1010 喘息	6,410	4.6%
6	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	4,480	3.2%
7	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	4,330	3.1%
8	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	4,330	3.1%
9	10 呼吸器系の疾患	1006 アレルギー - 性鼻炎	4,180	3.0%
10	10 呼吸器系の疾患	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	3,730	2.7%
11	05 精神及び行動の障害	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	3,660	2.6%
12	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	3,420	2.4%
13	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	3,110	2.2%
14	10 呼吸器系の疾患	1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	3,050	2.2%
15	07 眼及び付属器の疾患	0701 結膜炎	2,790	2.0%

【B健保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	件数	件数占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	5,134	8.4%
2	10 呼吸器系の疾患	1003 その他の急性上気道感染症	4,166	6.8%
3	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	3,831	6.2%
4	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	2,993	4.9%
5	10 呼吸器系の疾患	1010 喘息	2,776	4.5%
6	10 呼吸器系の疾患	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,249	3.7%
7	07 眼及び付属器の疾患	0703 屈折及び調節の障害	2,171	3.5%
8	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	1,974	3.2%
9	01 感染症及び寄生虫症	0101 腸管感染症	1,966	3.2%
10	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	1,804	2.9%
11	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	1,722	2.8%
12	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1,653	2.7%
13	10 呼吸器系の疾患	1006 アレルギー - 性鼻炎	1,495	2.4%
14	10 呼吸器系の疾患	1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	1,385	2.3%
15	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	1,019	1.7%

- 疾病中分類 119 疾病別に 40 歳代の医療費をみると、国保では「統合失調症」が最も多く、次いで「腎不全」が続いている。生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- A 共済では、「その他の損傷等」が最も多く、次いで「腎不全」が続いている。生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- B 健保では、「良性新生物等」が最も多く、次いで「糖尿病」「高血圧疾患」が続いている。生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。

図表 3-5-7 40-49 歳の医療費ランキング(平成18年1ヶ月診療分 医科医療費)

【国保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり費用額	医療費占有率
1	05 精神及び行動の障害	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	499,678,520	56,168.90	10.1%
2	14 腎泌尿生殖器系の疾患	1402 腎不全	339,227,140	320,327.80	6.9%
3	18 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	211,067,810	35,461.66	4.3%
4	02 新生物	0211 良性新生物及びその他の新生物	189,485,310	30,048.42	3.8%
5	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	167,875,120	12,671.73	3.4%
6	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	159,452,680	23,594.66	3.2%
7	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	146,188,280	27,319.81	3.0%
8	06 神経系の疾患	0606 その他の神経系の疾患	137,518,360	20,982.36	2.8%
9	05 精神及び行動の障害	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	124,562,070	15,576.10	2.5%
10	06 神経系の疾患	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	113,200,430	206,947.77	2.3%
11	02 新生物	0206 乳房の悪性新生物	107,775,910	70,765.54	2.2%
12	19 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	104,424,130	20,284.41	2.1%
13	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	100,516,670	12,619.80	2.0%
14	02 新生物	0210 その他の悪性新生物	99,732,690	89,930.29	2.0%
15	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	95,690,280	24,906.37	1.9%

【A 共済】

NO	疾病大分類	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり費用額	医療費占有率
1	19 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	57,489,400	88,445.23	14.1%
2	14 腎泌尿生殖器系の疾患	1402 腎不全	28,732,100	319,245.56	7.1%
3	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1301 炎症性多発性関節障害	28,210,900	64,115.68	6.9%
4	02 新生物	0210 その他の悪性新生物	17,815,000	89,075.00	4.4%
5	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	15,460,600	8,734.80	3.8%
6	02 新生物	0211 良性新生物及びその他の新生物	15,144,100	20,192.13	3.7%
7	02 新生物	0206 乳房の悪性新生物	11,423,900	114,239.00	2.8%
8	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	10,960,600	12,598.39	2.7%
9	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	9,817,800	15,583.81	2.4%
10	10 呼吸器系の疾患	1007 慢性副鼻腔炎	9,186,800	70,667.69	2.3%
11	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	8,972,600	14,019.69	2.2%
12	08 耳及び乳様突起の疾患	0807 その他の耳疾患	8,502,800	60,734.29	2.1%
13	03 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0301 貧血	8,446,100	49,682.94	2.1%
14	02 新生物	0202 結腸の悪性新生物	8,421,900	280,730.00	2.1%
15	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0401 甲状腺障害	8,373,200	13,290.79	2.1%

【B 健保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり費用額	医療費占有率
1	02 新生物	0211 良性新生物及びその他の新生物	8,746,150	36,748.53	7.7%
2	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	6,168,460	25,075.04	5.4%
3	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	5,679,820	9,912.43	5.0%
4	09 循環器系の疾患	0903 その他の心疾患	5,250,700	93,762.50	4.6%
5	19 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	5,227,296	8,541.33	4.6%
6	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	3,781,140	25,548.24	3.3%
7	14 腎泌尿生殖器系の疾患	1402 腎不全	3,574,080	238,272.00	3.2%
8	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	3,477,360	108,667.50	3.1%
9	09 循環器系の疾患	0905 脳内出血	3,388,370	423,546.25	3.0%
10	02 新生物	0206 乳房の悪性新生物	3,121,760	58,901.13	2.8%
11	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,023,530	11,903.66	2.7%
12	03 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0301 貧血	2,796,930	54,841.76	2.5%
13	05 精神及び行動の障害	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	2,764,020	13,288.56	2.4%
14	03 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,749,400	196,385.71	2.4%
15	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	2,208,550	37,433.05	1.9%

- 疾病中分類の119疾病別に40歳代の件数をみると、国保では「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「その他の急性上気道感染症」が続いている。生活習慣病関連疾患が上位になる傾向がある。
- A共済では、「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「その他の急性上気道感染症」が続いている。生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- B健保では、「その他の損傷等」が最も多く、次いで「高血圧性疾患」が続いている。生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。

図表 3-5-8 40-49歳の件数ランキング(平成18年1ヶ月診療分 医科医療費)

【国保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	件数	件数占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	13,248	5.7%
2	10 呼吸器系の疾患	1003 その他の急性上気道感染症	10,671	4.6%
3	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	9,414	4.0%
4	05 精神及び行動の障害	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	8,896	3.8%
5	05 精神及び行動の障害	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	7,997	3.4%
6	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	7,965	3.4%
7	11 消化器系の疾患	1105 胃炎及び十二指腸炎	7,286	3.1%
8	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	7,016	3.0%
9	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	6,758	2.9%
10	10 呼吸器系の疾患	1010 喘息	6,674	2.9%
11	07 眼及び付属器の疾患	0703 屈折及び調節の障害	6,570	2.8%
12	06 神経系の疾患	0606 その他の神経系の疾患	6,554	2.8%
13	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	6,378	2.7%
14	02 新生物	0211 良性新生物及びその他の新生物	6,306	2.7%
15	05 精神及び行動の障害	0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	5,985	2.6%

【A共済】

NO	疾病大分類	疾病中分類	件数	件数占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	1,770	7.1%
2	10 呼吸器系の疾患	1003 その他の急性上気道感染症	1,220	4.9%
3	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	1,120	4.5%
4	05 精神及び行動の障害	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	980	4.0%
5	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	870	3.5%
6	05 精神及び行動の障害	0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	790	3.2%
7	07 眼及び付属器の疾患	0703 屈折及び調節の障害	790	3.2%
8	10 呼吸器系の疾患	1006 アレルギー-性鼻炎	780	3.1%
9	02 新生物	0211 良性新生物及びその他の新生物	750	3.0%
10	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	700	2.8%
11	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	650	2.6%
12	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	640	2.6%
13	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0401 甲状腺障害	630	2.5%
14	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	630	2.5%
15	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1304 椎間板障害	620	2.5%

【B健保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	件数	件数占有率
1	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	612	8.7%
2	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	573	8.2%
3	10 呼吸器系の疾患	1003 その他の急性上気道感染症	328	4.7%
4	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	277	3.9%
5	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	254	3.6%
6	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	246	3.5%
7	02 新生物	0211 良性新生物及びその他の新生物	238	3.4%
8	07 眼及び付属器の疾患	0703 屈折及び調節の障害	212	3.0%
9	05 精神及び行動の障害	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	208	3.0%
10	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	206	2.9%
11	10 呼吸器系の疾患	1010 喘息	191	2.7%
12	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	182	2.6%
13	10 呼吸器系の疾患	1006 アレルギー-性鼻炎	163	2.3%
14	10 呼吸器系の疾患	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	158	2.3%
15	11 消化器系の疾患	1105 胃炎及び十二指腸炎	149	2.1%

- 疾病中分類の119疾病別に50歳代の医療費をみると、国保では「腎不全」が最も多く、次いで「統合失調症」、「高血圧性疾患」、「糖尿病」が続いている。40歳代に比べて生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- A共済では、「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「腎不全」「その他の悪性新生物」「糖尿病」が続いている。40歳代に比べて生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- B健保では、「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「その他の悪性新生物」「糖尿病」「腎不全」が続いている。40歳代に比べて生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。

図表 3-5-9 50-59歳の医療費ランキング(平成18年1ヶ月診療分 医科医療費)

【国保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり費用額	医療費占有率
1	14 腎泌尿生殖器系の疾患	1402 腎不全	1,012,972,910	338,560.46	9.8%
2	05 精神及び行動の障害	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	769,464,290	88,302.08	7.5%
3	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	709,818,680	11,635.23	6.9%
4	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	536,304,970	23,972.15	5.2%
5	18 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	392,842,020	41,539.81	3.8%
6	02 新生物	0210 その他の悪性新生物	363,484,170	102,708.16	3.5%
7	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	286,920,220	34,456.61	2.8%
8	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	271,197,020	63,871.18	2.6%
9	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	266,548,010	13,082.11	2.6%
10	06 神経系の疾患	0606 その他の神経系の疾患	264,763,280	27,465.07	2.6%
11	02 新生物	0211 良性新生物及びその他の新生物	220,581,630	34,273.09	2.1%
12	02 新生物	0206 乳房の悪性新生物	212,874,600	70,302.05	2.1%
13	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	196,133,070	29,414.08	1.9%
14	09 循環器系の疾患	0903 その他の心疾患	182,696,980	38,879.97	1.8%
15	11 消化器系の疾患	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	173,361,150	16,720.79	1.7%

【A共済】

NO	疾病大分類	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり費用額	医療費占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	49,666,100	8,698.09	7.9%
2	14 腎泌尿生殖器系の疾患	1402 腎不全	46,338,500	356,450.00	7.4%
3	02 新生物	0210 その他の悪性新生物	45,119,500	132,704.41	7.2%
4	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	33,582,000	17,221.54	5.4%
5	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	32,493,500	24,069.26	5.2%
6	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	31,453,800	59,346.79	5.0%
7	02 新生物	0206 乳房の悪性新生物	28,930,500	131,502.27	4.6%
8	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	21,655,900	11,964.59	3.5%
9	19 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1901 骨折	18,895,700	89,979.52	3.0%
10	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	15,523,500	22,176.43	2.5%
11	02 新生物	0211 良性新生物及びその他の新生物	12,720,900	19,876.41	2.0%
12	09 循環器系の疾患	0905 脳内出血	11,491,400	191,523.33	1.8%
13	18 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,634,500	14,770.14	1.7%
14	05 精神及び行動の障害	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	10,560,400	9,962.64	1.7%
15	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0401 甲状腺障害	9,714,000	13,681.69	1.6%

【B健保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり費用額	医療費占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	21,957,570	10,774.08	9.6%
2	02 新生物	0210 その他の悪性新生物	16,404,840	156,236.57	7.2%
3	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	13,807,090	16,796.95	6.0%
4	14 腎泌尿生殖器系の疾患	1402 腎不全	13,103,560	319,599.02	5.7%
5	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	9,646,570	37,978.62	4.2%
6	19 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	7,887,270	10,586.94	3.5%
7	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	7,286,500	44,978.40	3.2%
8	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	6,318,810	9,721.25	2.8%
9	02 新生物	0206 乳房の悪性新生物	6,129,980	77,594.68	2.7%
10	02 新生物	0211 良性新生物及びその他の新生物	5,451,460	25,593.71	2.4%
11	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1302 関節症	5,173,450	30,254.09	2.3%
12	09 循環器系の疾患	0903 その他の心疾患	4,933,690	32,246.34	2.2%
13	11 消化器系の疾患	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	4,910,640	18,960.00	2.1%
14	09 循環器系の疾患	0906 脳梗塞	4,750,310	56,551.31	2.1%
15	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	4,635,540	11,224.07	2.0%

- 疾病中分類の119疾病別に50歳代の件数をみると、国保では「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「糖尿病」「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」が続いている。40歳代に比べて生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- A共済では、「高血圧性疾患」が最も多く、「糖尿病」「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」が続いている。40歳代に比べて生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- B健保では、「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「糖尿病」が続いている。40歳代に比べて生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。

図表 3-5-10 50-59歳の件数ランキング(平成18年1ヶ月診療分 医科医療費)

【国保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	件数	件数占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	61,006	15.3%
2	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	22,372	5.6%
3	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	20,375	5.1%
4	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	12,360	3.1%
5	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	11,498	2.9%
6	11 消化器系の疾患	1105 胃炎及び十二指腸炎	10,965	2.7%
7	11 消化器系の疾患	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	10,368	2.6%
8	06 神経系の疾患	0606 その他の神経系の疾患	9,640	2.4%
9	18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9,457	2.4%
10	10 呼吸器系の疾患	1003 その他の急性上気道感染症	9,381	2.4%
11	05 精神及び行動の障害	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	8,714	2.2%
12	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	8,637	2.2%
13	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	8,361	2.1%
14	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	8,327	2.1%
15	07 眼及び付属器の疾患	0703 屈折及び調節の障害	8,325	2.1%

【A共済】

NO	疾病大分類	疾病中分類	件数	件数占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	5,710	15.4%
2	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	1,950	5.3%
3	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	1,810	4.9%
4	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1,350	3.7%
5	07 眼及び付属器の疾患	0703 屈折及び調節の障害	1,140	3.1%
6	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	1,140	3.1%
7	10 呼吸器系の疾患	1003 その他の急性上気道感染症	1,070	2.9%
8	05 精神及び行動の障害	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	1,060	2.9%
9	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	960	2.6%
10	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	790	2.1%
11	11 消化器系の疾患	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	770	2.1%
12	10 呼吸器系の疾患	1010 喘息	740	2.0%
13	18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	720	1.9%
14	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0401 甲状腺障害	710	1.9%
15	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	700	1.9%

【B健保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	件数	件数占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	2,038	16.7%
2	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	822	6.7%
3	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	745	6.1%
4	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	650	5.3%
5	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	413	3.4%
6	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	318	2.6%
7	10 呼吸器系の疾患	1003 その他の急性上気道感染症	294	2.4%
8	11 消化器系の疾患	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	259	2.1%
9	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	254	2.1%
10	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	249	2.0%
11	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	245	2.0%
12	11 消化器系の疾患	1105 胃炎及び十二指腸炎	236	1.9%
13	07 眼及び付属器の疾患	0703 屈折及び調節の障害	234	1.9%
14	02 新生物	0211 良性新生物及びその他の新生物	213	1.7%
15	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1301 炎症性多発性関節障害	209	1.7%

- 疾病中分類の119疾病別に60歳代の医療費をみると、国保では「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「腎不全」「糖尿病」が続いている。50歳代に比べて生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- A共済では、「その他の悪性新生物」が最も多く、次いで「腎不全」「糖尿病」「高血圧性疾患」が続いている。生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- B健保では、「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「腎不全」「その他の悪性新生物」が続いている。50歳代に比べて生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。

図表3-5-11 60-69歳の医療費ランキング(平成18年1ヶ月診療分 医科医療費)

【国保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり費用額	医療費占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	2,072,480,030	11,696.50	8.8%
2	14 腎泌尿生殖器系の疾患	1402 腎不全	1,824,078,220	322,161.47	7.8%
3	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	1,331,076,770	22,922.72	5.7%
4	02 新生物	0210 その他の悪性新生物	1,065,767,060	96,127.63	4.5%
5	18 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,002,458,610	44,050.56	4.3%
6	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	905,330,140	56,590.21	3.8%
7	05 精神及び行動の障害	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	847,414,250	109,357.88	3.6%
8	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	693,026,160	12,078.68	2.9%
9	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	686,026,620	35,827.59	2.9%
10	09 循環器系の疾患	0903 その他の心疾患	653,773,590	43,056.74	2.8%
11	09 循環器系の疾患	0906 脳梗塞	568,018,570	45,642.31	2.4%
12	06 神経系の疾患	0606 その他の神経系の疾患	492,845,100	26,285.07	2.1%
13	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	440,180,900	16,042.16	1.9%
14	02 新生物	0211 良性新生物及びその他の新生物	398,593,620	41,589.48	1.7%
15	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1302 関節症	391,795,970	19,899.23	1.7%

【A共済】

NO	疾病大分類	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり費用額	医療費占有率
1	02 新生物	0210 その他の悪性新生物	26,510,800	441,846.67	26.3%
2	14 腎泌尿生殖器系の疾患	1402 腎不全	17,312,200	346,244.00	17.2%
3	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	8,487,300	38,578.64	8.4%
4	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	5,123,700	10,247.40	5.1%
5	02 新生物	0209 白血病	4,182,800	418,280.00	4.1%
6	01 感染症及び寄生虫症	0102 結核	4,089,600	408,960.00	4.1%
7	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,980,100	13,545.91	3.0%
8	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	2,645,500	88,183.33	2.6%
9	10 呼吸器系の疾患	1002 急性咽喉炎及び急性扁桃炎	2,511,100	125,555.00	2.5%
10	06 神経系の疾患	0601 パーキンソン病	1,993,000	199,300.00	2.0%
11	10 呼吸器系の疾患	1010 喘息	1,876,500	20,850.00	1.9%
12	02 新生物	0206 乳房の悪性新生物	1,461,300	48,710.00	1.4%
13	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1302 関節症	1,429,000	14,290.00	1.4%
14	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	1,411,500	17,643.75	1.4%
15	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	1,109,100	11,091.00	1.1%

【B健保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり費用額	医療費占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	12,825,540	9,919.21	8.3%
2	14 腎泌尿生殖器系の疾患	1402 腎不全	11,294,570	364,340.97	7.4%
3	02 新生物	0210 その他の悪性新生物	10,135,540	92,986.61	6.6%
4	09 循環器系の疾患	0903 その他の心疾患	8,878,750	83,761.79	5.8%
5	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	8,280,600	15,985.71	5.4%
6	02 新生物	0211 良性新生物及びその他の新生物	8,028,450	96,728.31	5.2%
7	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	5,624,520	37,748.46	3.7%
8	19 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	5,517,601	17,972.64	3.6%
9	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	5,509,110	37,733.63	3.6%
10	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	4,217,440	10,758.78	2.7%
11	02 新生物	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物	3,228,000	104,129.03	2.1%
12	01 感染症及び寄生虫症	0105 ウイルス肝炎	3,039,750	53,328.95	2.0%
13	18 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,016,910	27,934.35	2.0%
14	09 循環器系の疾患	0904 くも膜下出血	2,919,160	291,916.00	1.9%
15	09 循環器系の疾患	0906 脳梗塞	2,810,810	39,588.87	1.8%

- 疾病中分類の119疾病別に60歳代の件数をみると、国保では「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「糖尿病」「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」が続いている。50歳代に比べて生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- A共済では、「高血圧性疾患」が最も多く、「糖尿病」「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」が続いている。50歳代に比べて生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- B健保では、「高血圧性疾患」が最も多く、「糖尿病」「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」が続いている。50歳代に比べて生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。

図表 3-5-12 60-69歳の件数ランキング(平成18年1ヶ月診療分 医科医療費)

【国保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	件数	件数占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	177,188	19.0%
2	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	58,068	6.2%
3	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	57,376	6.2%
4	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	33,064	3.5%
5	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	27,439	2.9%
6	11 消化器系の疾患	1105 胃炎及び十二指腸炎	23,169	2.5%
7	18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	22,757	2.4%
8	07 眼及び付属器の疾患	0703 屈折及び調節の障害	21,396	2.3%
9	07 眼及び付属器の疾患	0702 白内障	20,895	2.2%
10	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	20,123	2.2%
11	11 消化器系の疾患	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	19,713	2.1%
12	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1302 関節症	19,689	2.1%
13	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	19,148	2.1%
14	06 神経系の疾患	0606 その他の神経系の疾患	18,750	2.0%
15	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	15,998	1.7%

【A共済】

NO	疾病大分類	疾病中分類	件数	件数占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	500	14.7%
2	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	220	6.5%
3	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	220	6.5%
4	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	130	3.8%
5	07 眼及び付属器の疾患	0702 白内障	100	2.9%
6	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1301 炎症性多発性関節障害	100	2.9%
7	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1302 関節症	100	2.9%
8	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	100	2.9%
9	10 呼吸器系の疾患	1010 喘息	90	2.6%
10	06 神経系の疾患	0606 その他の神経系の疾患	80	2.3%
11	07 眼及び付属器の疾患	0703 屈折及び調節の障害	80	2.3%
12	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	80	2.3%
13	11 消化器系の疾患	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	80	2.3%
14	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	80	2.3%
15	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	70	2.1%

【B健保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	件数	件数占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	1,293	18.8%
2	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	518	7.5%
3	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	392	5.7%
4	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	307	4.5%
5	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	225	3.3%
6	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	183	2.7%
7	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	173	2.5%
8	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	149	2.2%
9	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	146	2.1%
10	07 眼及び付属器の疾患	0703 屈折及び調節の障害	133	1.9%
11	11 消化器系の疾患	1105 胃炎及び十二指腸炎	132	1.9%
12	11 消化器系の疾患	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	121	1.8%
13	10 呼吸器系の疾患	1003 その他の急性上気道感染症	117	1.7%
14	07 眼及び付属器の疾患	0702 白内障	113	1.6%
15	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	113	1.6%

- 疾病中分類の119疾病別に70歳以上の医療費をみると、国保では「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「脳梗塞」「腎不全」が続いている。60歳代に比べて生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- A共済では、「白内障」が最も多く、次いで「高血圧性疾患」「胃の悪性新生物」「脳梗塞」「糖尿病」が続いている。生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- B健保では、「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「脳梗塞」「骨折」「糖尿病」「虚血性心疾患」が続いている。60歳代に比べて生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。

図表3-5-13 70歳以上の医療費ランキング(平成18年1ヶ月診療分 医科医療費)

【国保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり費用額	医療費占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	5,836,944,510	15,407.54	9.4%
2	09 循環器系の疾患	0906 脳梗塞	3,262,717,170	61,140.79	5.3%
3	14 腎泌尿生殖器系の疾患	1402 腎不全	3,165,405,210	298,454.20	5.1%
4	18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,749,478,620	48,413.13	4.4%
5	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	2,744,163,400	28,101.46	4.4%
6	09 循環器系の疾患	0903 その他の心疾患	2,550,791,190	53,558.80	4.1%
7	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	2,386,451,820	46,529.51	3.8%
8	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1901 骨折	2,386,367,330	114,114.73	3.8%
9	02 新生物	0210 その他の悪性新生物	2,371,264,150	81,453.15	3.8%
10	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	1,727,014,910	39,297.67	2.8%
11	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	1,644,166,630	19,788.02	2.6%
12	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	1,543,512,700	16,077.25	2.5%
13	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1302 関節症	1,348,552,660	21,576.50	2.2%
14	07 眼及び付属器の疾患	0702 白内障	1,181,618,940	14,113.26	1.9%
15	10 呼吸器系の疾患	1004 肺炎	1,089,479,680	248,003.57	1.8%

【A共済】

NO	疾病大分類	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり費用額	医療費占有率
1	07 眼及び付属器の疾患	0702 白内障	5,310,500	75,864.29	26.1%
2	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	1,576,000	9,270.59	7.8%
3	02 新生物	0201 胃の悪性新生物	1,312,700	32,817.50	6.5%
4	09 循環器系の疾患	0906 脳梗塞	1,202,800	30,070.00	5.9%
5	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	1,025,800	11,397.78	5.1%
6	02 新生物	0210 その他の悪性新生物	787,700	39,385.00	3.9%
7	02 新生物	0206 乳房の悪性新生物	755,900	37,795.00	3.7%
8	11 消化器系の疾患	1107 慢性肝炎(アルコール性ものを除く)	677,600	33,880.00	3.3%
9	14 腎泌尿生殖器系の疾患	1402 腎不全	627,500	31,375.00	3.1%
10	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	589,200	14,730.00	2.9%
11	02 新生物	0211 良性新生物及びその他の新生物	525,700	52,570.00	2.6%
12	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	505,400	6,317.50	2.5%
13	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0401 甲状腺障害	393,200	13,106.67	1.9%
14	09 循環器系の疾患	0912 その他の循環器系の疾患	325,800	10,860.00	1.6%
15	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1301 炎症性多発性関節障害	273,700	13,685.00	1.3%

【B健保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり費用額	医療費占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	16,676,050	15,050.59	10.4%
2	09 循環器系の疾患	0906 脳梗塞	13,038,630	78,075.63	8.1%
3	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1901 骨折	9,380,470	183,930.78	5.9%
4	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	8,681,680	32,637.89	5.4%
5	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	7,726,180	64,925.88	4.8%
6	02 新生物	0210 その他の悪性新生物	7,323,260	118,117.10	4.6%
7	14 腎泌尿生殖器系の疾患	1402 腎不全	5,907,480	310,920.00	3.7%
8	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	4,307,840	22,436.67	2.7%
9	09 循環器系の疾患	0903 その他の心疾患	3,969,780	34,222.24	2.5%
10	11 消化器系の疾患	1110 胆石症及び胆のう炎	3,820,190	254,679.33	2.4%
11	10 呼吸器系の疾患	1011 その他の呼吸器系の疾患	3,246,430	135,267.92	2.0%
12	06 神経系の疾患	0601 パーキンソン病	3,117,780	164,093.68	1.9%
13	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	3,063,320	15,790.31	1.9%
14	18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,981,280	41,989.86	1.9%
15	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	2,920,910	32,819.21	1.8%

- 疾病中分類の119疾病別に70歳以上の件数をみると、国保では「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「糖尿病」「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」が続いている。60歳代に比べて生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- A共済では、「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「糖尿病」が続いている。生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- B健保では、「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「糖尿病」が続いている。60歳代に比べて生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。

図表3-5-14 70歳以上の件数ランキング(平成18年1ヶ月診療分 医科医療費)

【国保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	件数	件数占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	378,837	18.6%
2	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	97,652	4.8%
3	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	96,006	4.7%
4	07 眼及び付属器の疾患	0702 白内障	83,724	4.1%
5	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	83,089	4.1%
6	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	75,865	3.7%
7	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1302 関節症	62,501	3.1%
8	18 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	56,792	2.8%
9	09 循環器系の疾患	0906 脳梗塞	53,364	2.6%
10	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	51,289	2.5%
11	11 消化器系の疾患	1105 胃炎及び十二指腸炎	50,145	2.5%
12	07 眼及び付属器の疾患	0703 屈折及び調節の障害	48,849	2.4%
13	09 循環器系の疾患	0903 その他の心疾患	47,626	2.3%
14	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	43,947	2.2%
15	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	37,180	1.8%

【A共済】

NO	疾病大分類	疾病中分類	件数	件数占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	170	12.8%
2	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	90	6.8%
3	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	80	6.0%
4	07 眼及び付属器の疾患	0702 白内障	70	5.3%
5	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	50	3.8%
6	02 新生物	0201 胃の悪性新生物	40	3.0%
7	09 循環器系の疾患	0906 脳梗塞	40	3.0%
8	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	40	3.0%
9	01 感染症及び寄生虫症	0105 ウイルス肝炎	30	2.3%
10	01 感染症及び寄生虫症	0107 真菌症	30	2.3%
11	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0401 甲状腺障害	30	2.3%
12	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	30	2.3%
13	06 神経系の疾患	0606 その他の神経系の疾患	30	2.3%
14	09 循環器系の疾患	0912 その他の循環器系の疾患	30	2.3%
15	14 泌尿生殖器系の疾患	1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	30	2.3%

【B健保】

NO	疾病大分類	疾病中分類	件数	件数占有率
1	09 循環器系の疾患	0901 高血圧性疾患	1,108	22.0%
2	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0402 糖尿病	266	5.3%
3	07 眼及び付属器の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	227	4.5%
4	07 眼及び付属器の疾患	0702 白内障	202	4.0%
5	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	194	3.9%
6	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	192	3.8%
7	09 循環器系の疾患	0906 脳梗塞	167	3.3%
8	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1302 関節症	136	2.7%
9	09 循環器系の疾患	0902 虚血性心疾患	119	2.4%
10	09 循環器系の疾患	0903 その他の心疾患	116	2.3%
11	19 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	113	2.2%
12	07 眼及び付属器の疾患	0703 屈折及び調節の障害	101	2.0%
13	11 消化器系の疾患	1105 胃炎及び十二指腸炎	95	1.9%
14	12 皮膚及び皮下組織の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	91	1.8%
15	11 消化器系の疾患	1112 その他の消化器系の疾患	89	1.8%

以上のように、保険者種別ごとに疾病構造の比較を行ったが、次のようなことがいえるものと考えられる。

「保険者種別の疾病構造の比較」

【疾病大分類別に見た特徴】

- ・ 各保険者においてその年齢構成を反映した疾病構造となっており、特に国保は高齢者の割合が多いことを反映して、「循環器系の疾患」の割合が多くなっている一方で、共済・健保では「呼吸系の疾患」の割合が多くなっている。
- ・ しかし、年齢階層別にみると、各年齢階層における疾病の出現状況は概ね同様であったが、特に国保の40歳代で「精神及び行動の障害」の割合が多くみられることが特徴的であった。

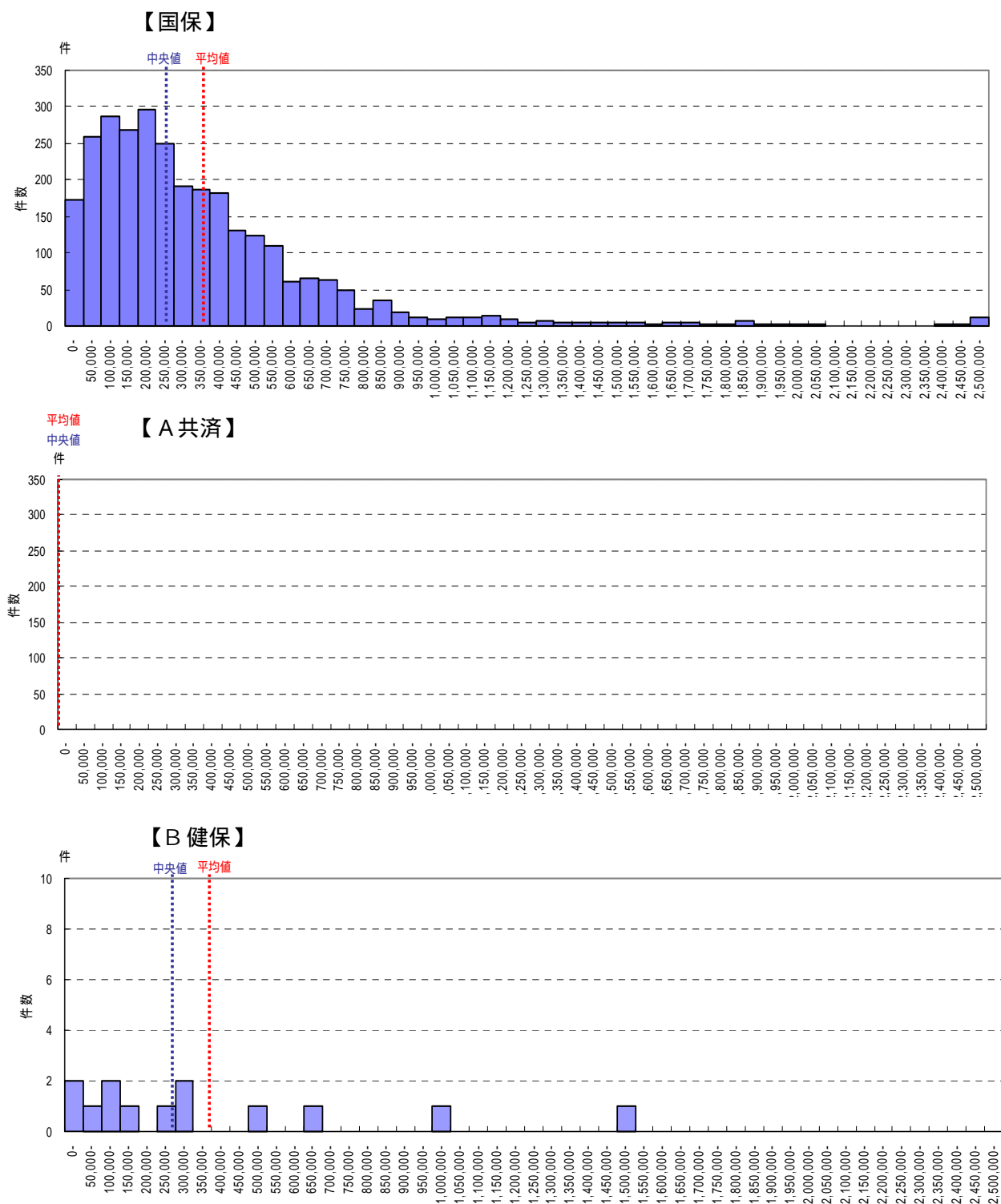
【疾病中分類別に見た特徴】

- ・ 疾病中分類の119疾病のうち、中分類別医療費の上位15疾病の医療費をみると、国保、共済、健保のいずれの保険者でも「高血圧性疾患」が最も多く、次いで「腎不全」や「糖尿病」が続いており、生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。また、年齢階層別にみると、加齢に伴って生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。

生活習慣病医療費と受診率の特徴

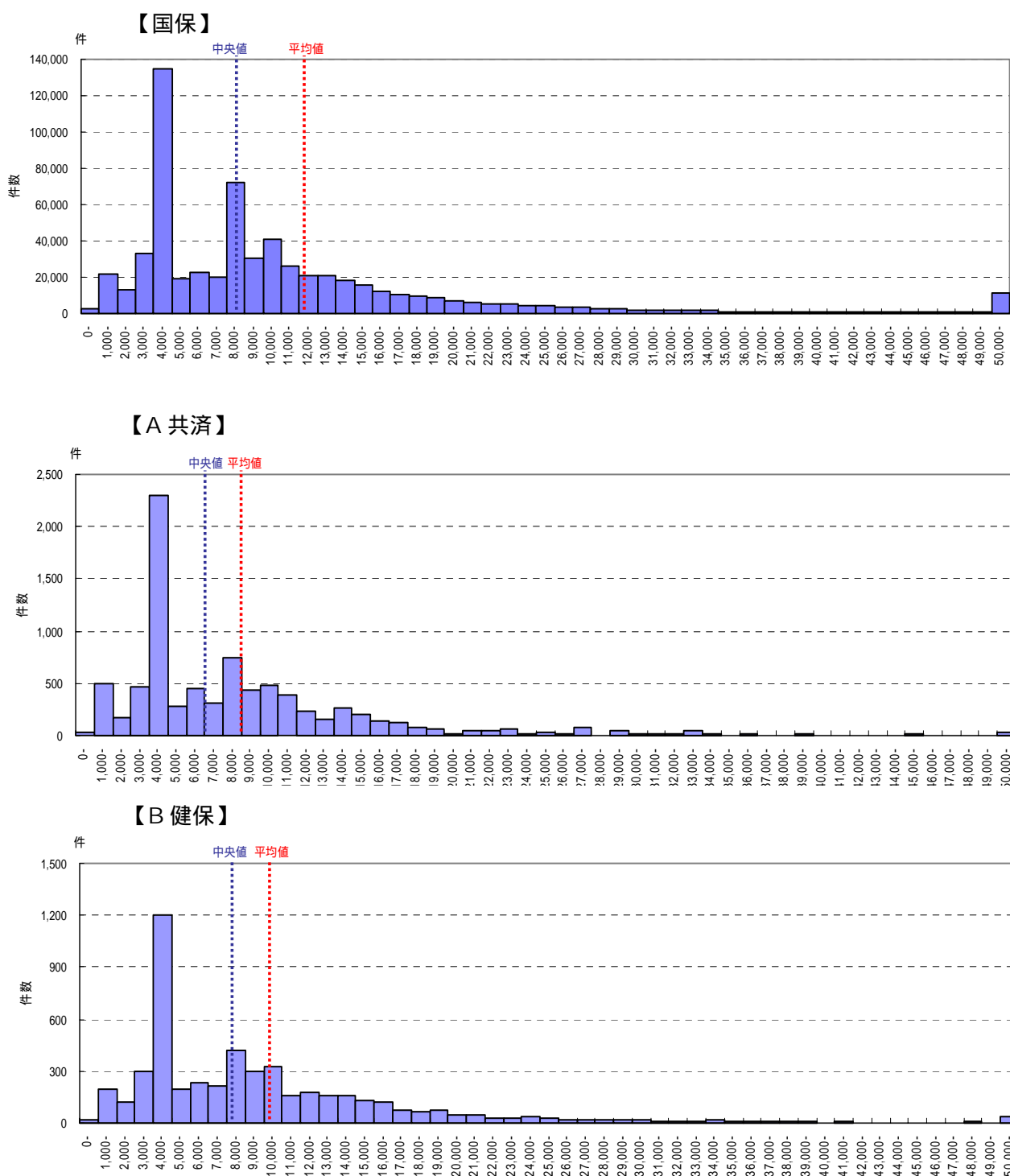
- 生活習慣病関連の医療費として、高血圧性疾患を主病とするレセプトの入院医療費（食事療養費を除く）を見ると、国保では平均値は380,919円となっている。
- A 共済では高血圧性疾患を主病とする入院がみられなかった。B 健保では平均値が399,738円であり、国保の380,919円に比べ若干高い値となっている。

図表 3-5-15 高血圧性疾患の医療費の分布(平成18年1ヶ月診療分 医科入院)



- 生活習慣病関連の医療費として、高血圧性疾患を主病とするレセプトの入院外医療費をみると、国保では平均値が12,255円となっている。A共済では平均値が8,957円、B健保では10,344円であり、国保の12,255円と比べ若干低い値となっている。
- レセプトの件数をみると、国保、A共済、B健保のいずれの保険者においても「4000 - 5000円」のレセプト件数が最も多く、次いで「8000 - 9000円」にピークがみられる。

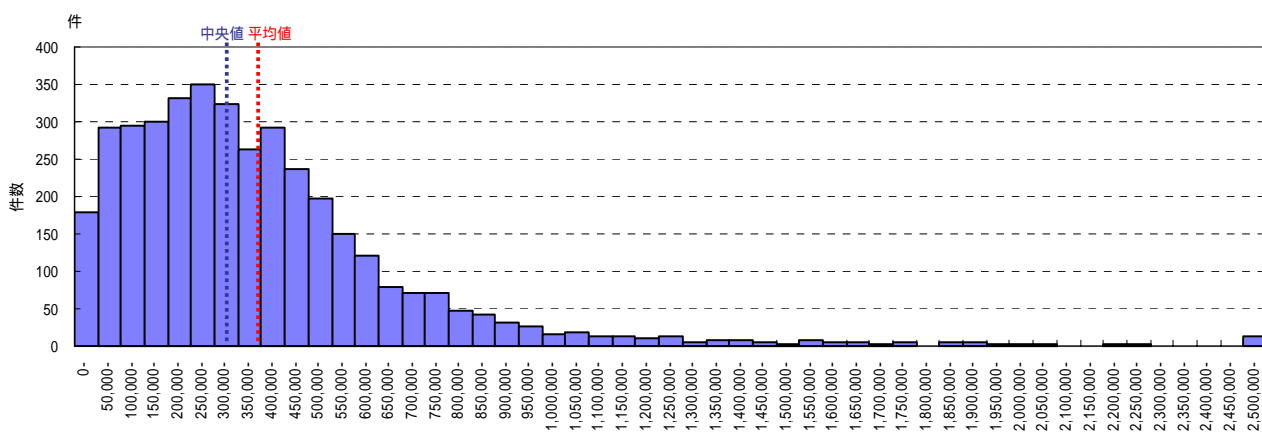
図表 3-5-16 高血圧性疾患の医療費の分布(平成18年1ヶ月診療分 医科入院外)



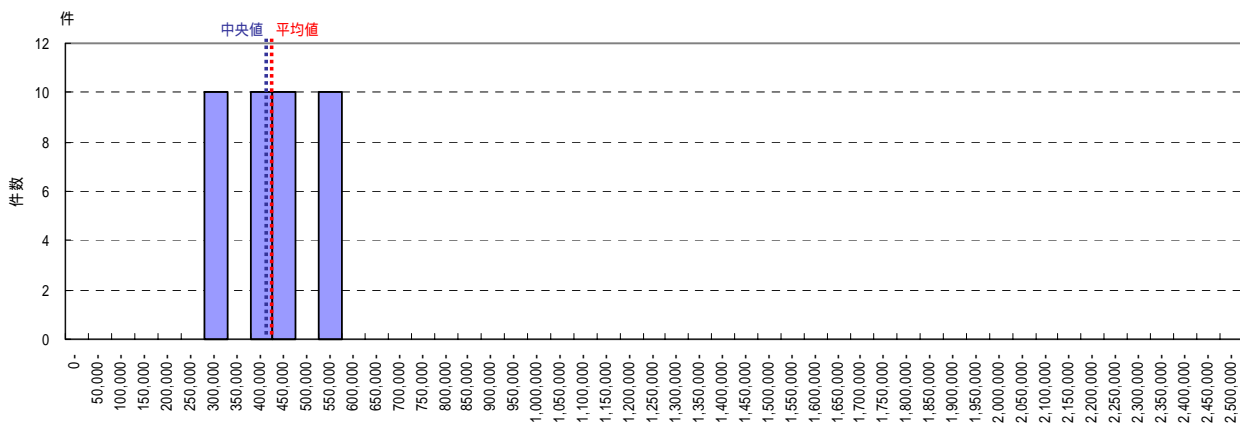
- 生活習慣病関連の医療費として、糖尿病を主病とするレセプトの入院医療費（食事療養費を除く）をみると、国保では平均値は399,804円となっている。
- A共済では、平均値が国保の平均値と比べて447,550円と高く、B健保では368,118円と低い値となっている。

図表 3-5-17 糖尿病の医療費の分布(平成18年1ヶ月診療分 医科入院)

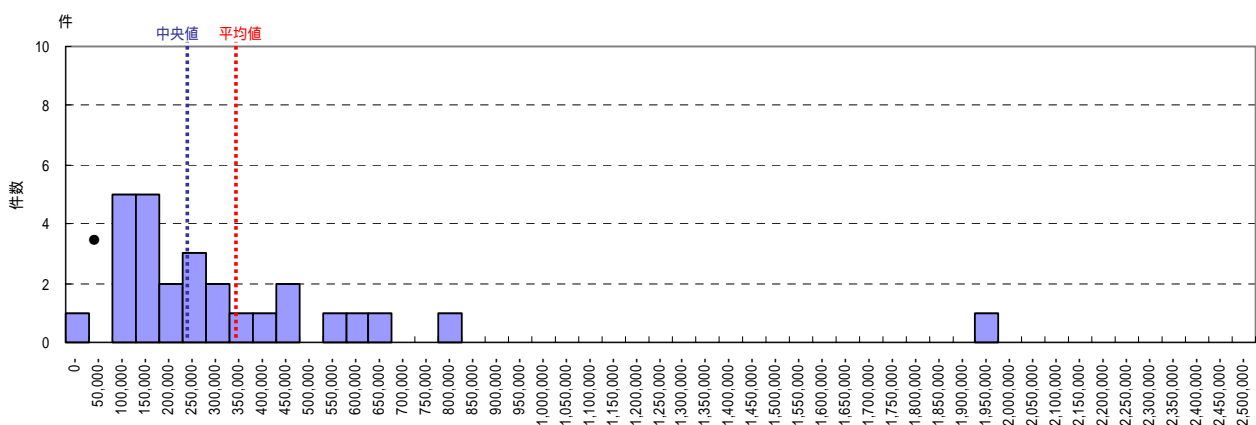
【国保】



【A共済】



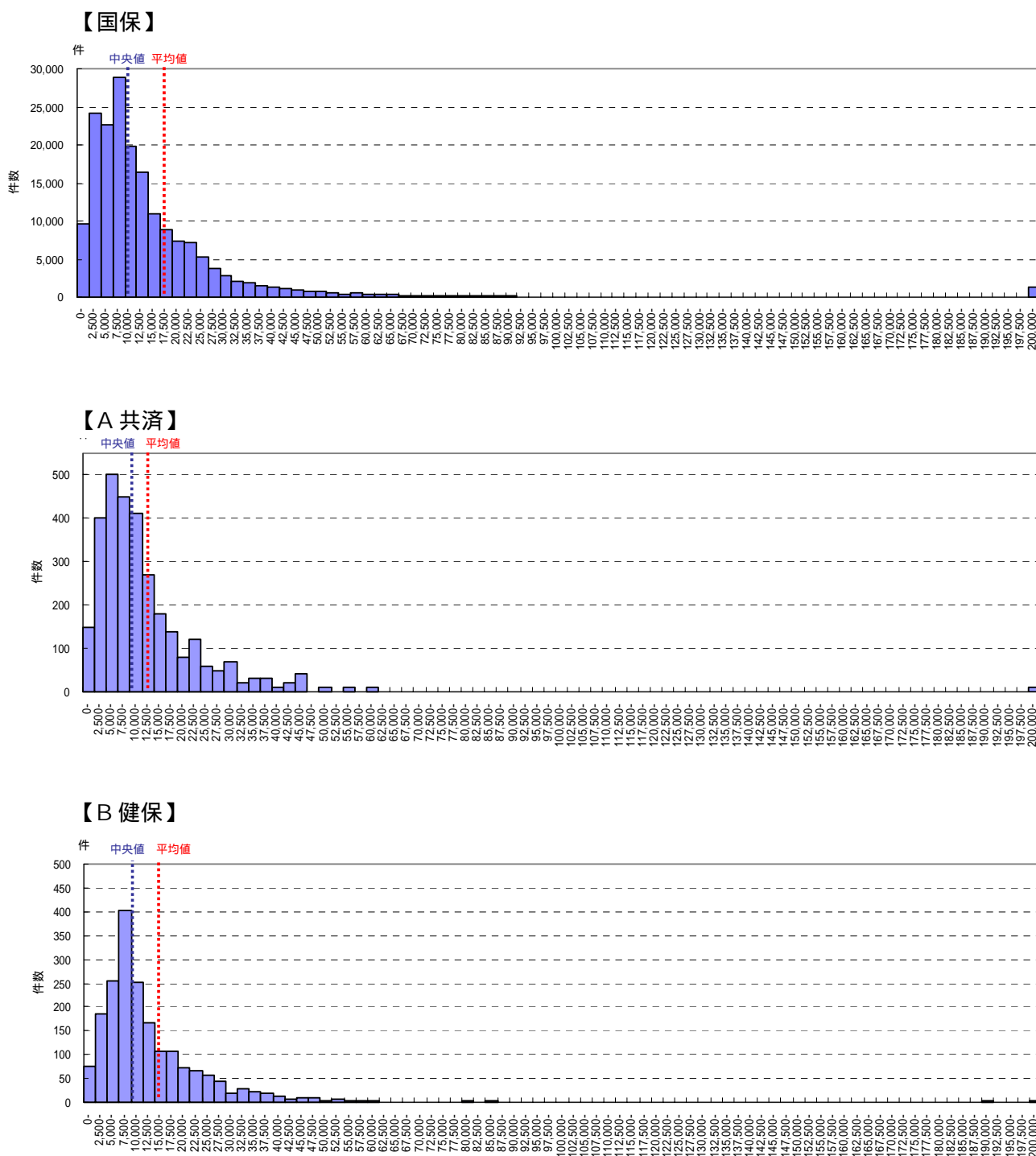
【B健保】



生活習慣病関連の医療費として、糖尿病を主病とするレセプトの入院外医療費をみると、国保では平均値は18,008円となっている。A共済では平均値が13,804円、B健保では15,236円であり、国保の18,008円と比べ若干低い値となっている。

- レセプト件数をみると、国保、A共済、B健保のいずれの保険者においても「5,000 - 7,500円」「7,500 - 10,000円」にピークがみられる。

図表 3-5-18 糖尿病の医療費の分布(平成18年1ヶ月診療分 医科入院外)



以上のように、国保、共済、健保の保険者種別に医療費の動向を概観したが、次のようなことがいえるものと考えられる。

「保険者種別の医療費の動向の比較」

【加入者に見る保険者比較】

- ・ 各保険者（国保、共済、健保）の加入者の年齢構成についてみると、国保と共済・健保との間の違いが大きい。特に国保加入者の平均年齢が高いことが、疾病構造にも大きく影響しているものと考えられる。

【疾病大分類別に見る保険者比較】

- ・ しかし、年齢階層別に疾病構造をみると、いずれの保険者においても概ね疾病の出現状況は同様であり、各保険者における健康課題についても、年齢階層別にみた課題については概ね同じものであるといえる。そのため、東京都民の医療費の分析を行い、健康課題の抽出並びに地域特性等の分析を行うには、国民健康保険医療費の状況を年齢階層別等に把握することで可能であるものと考えられる。
- ・ なお、国民健康保険の加入者の疾病構造については、特に20代から50代において、精神疾患に係る医療費割合が多いという特性が見られる。

(6) 高額医療費の状況

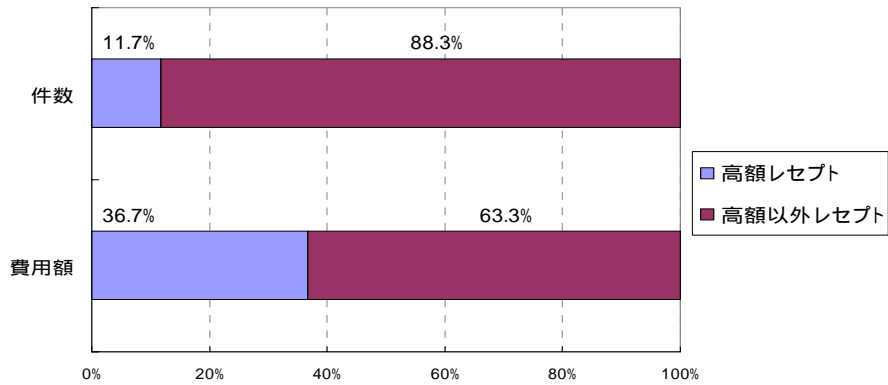
高額医療費レセプトについて、入院レセプトの基準を80万円超、入院外レセプトの基準を10万円超とし、高額医療費の状況を把握した。

< 高額医療費の概況 >

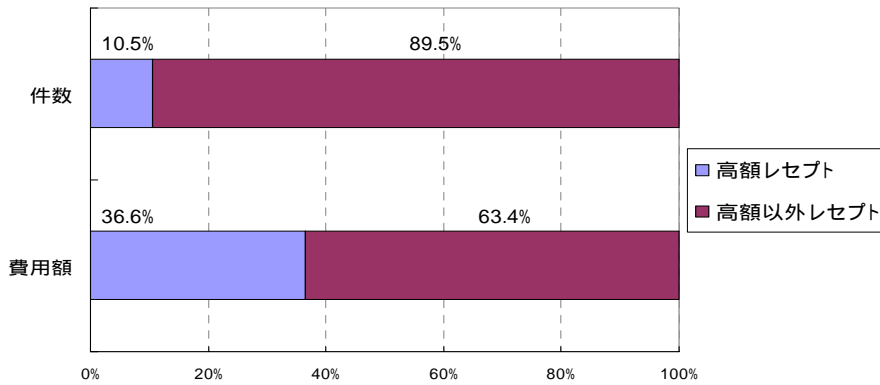
- 高額医療費レセプトについて医科入院（80万円超）をみると、いずれの保険者でも件数割合は1割強、医療費割合は約4割を占めている。

図表 3-6-1 高額医療費レセプト（80万円超）の件数・医療費割合
（平成18年1ヶ月診療分 医科入院）

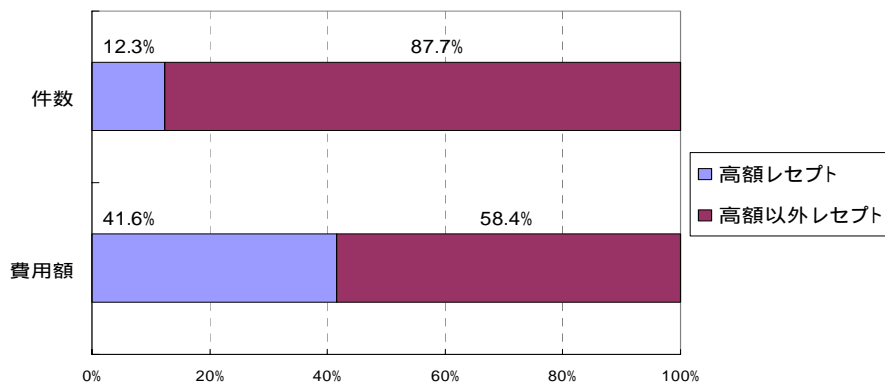
【国保】



【A 共済】



【B 健保】

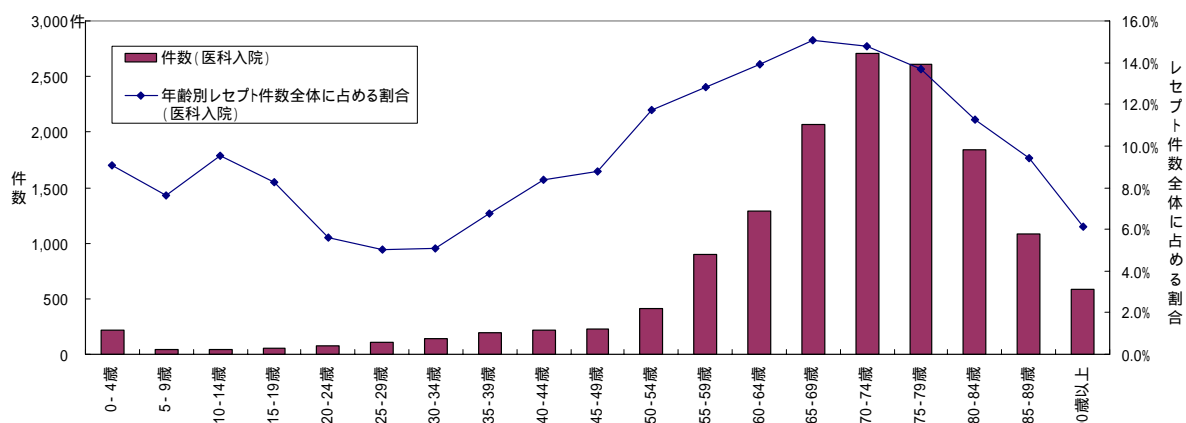


- 高額医療費レセプトについて医科入院（80万円超）を年齢階級別にみると、国保は件数のピークが「70-74歳」に対して、件数割合のピークは「65-69歳」となっている。
- A共済、B健保は共に、件数のピークが「0-4歳」と「55-59歳」に対して、件数割合のピークはA共済が「0-4歳」と「20-24歳」、 「40-44歳」と「60-64歳」、B健保が「45-49歳」と「65-69歳」となっている。

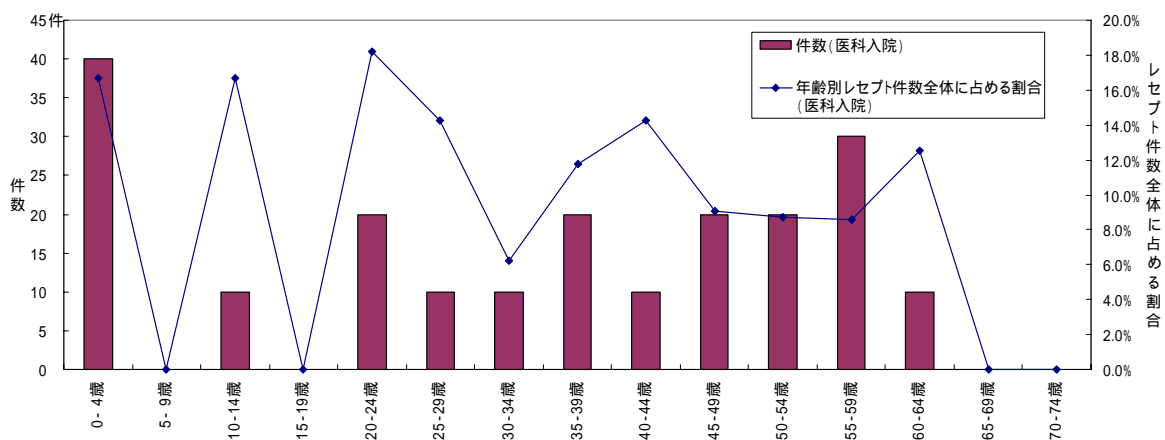
図表 3-6-2 高額医療費レセプト（80万円超）の年齢階級別件数・件数割合

（平成18年1ヶ月診療分 医科入院）

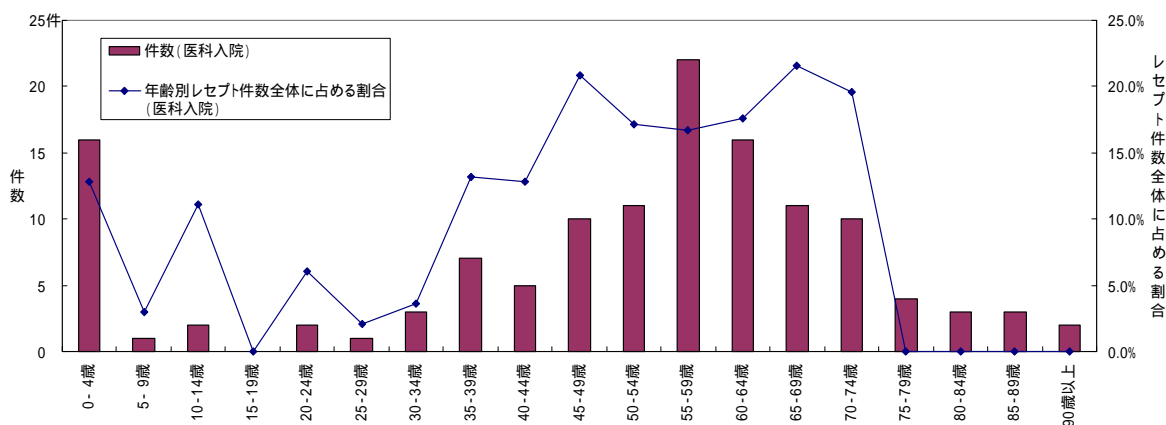
【国保】



【A共済】



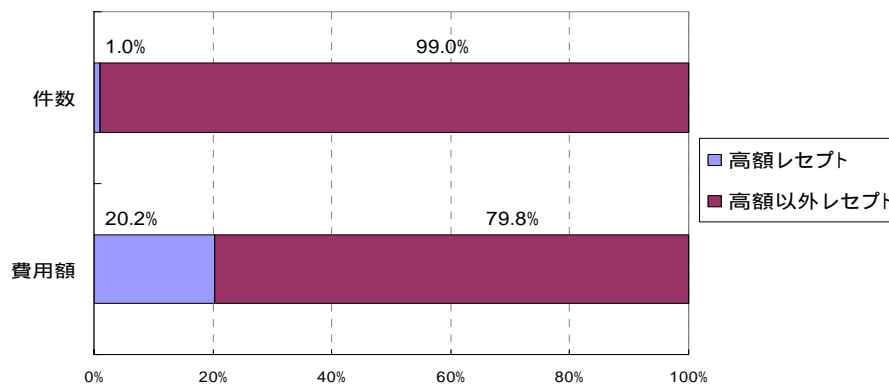
【B健保】



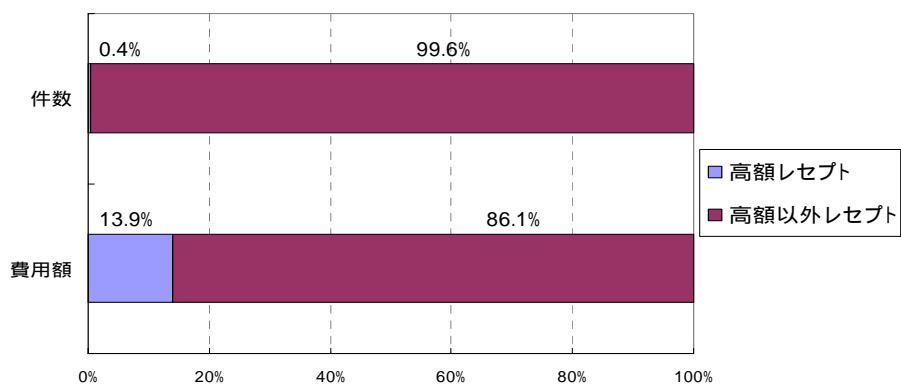
- 高額医療費レセプトについて医科入院外(10万円超)をみると、国保は件数割合は1.0%、医療費割合は2割程度を占めている。
- A共済、B健保は共に、件数割合は約0.5%、医療費割合は1割強を占めている。

図表 3-6-3 高額医療費レセプト(10万円超)の件数・医療費割合
(平成18年1ヶ月診療分 医科入院外)

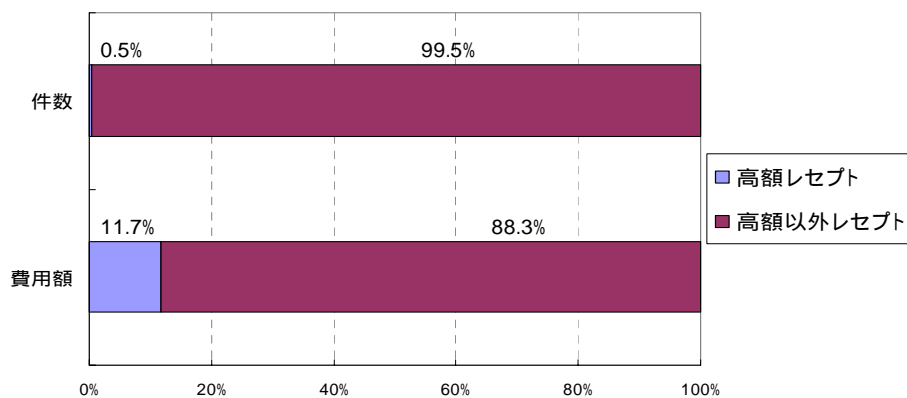
【国保】



【A共済】



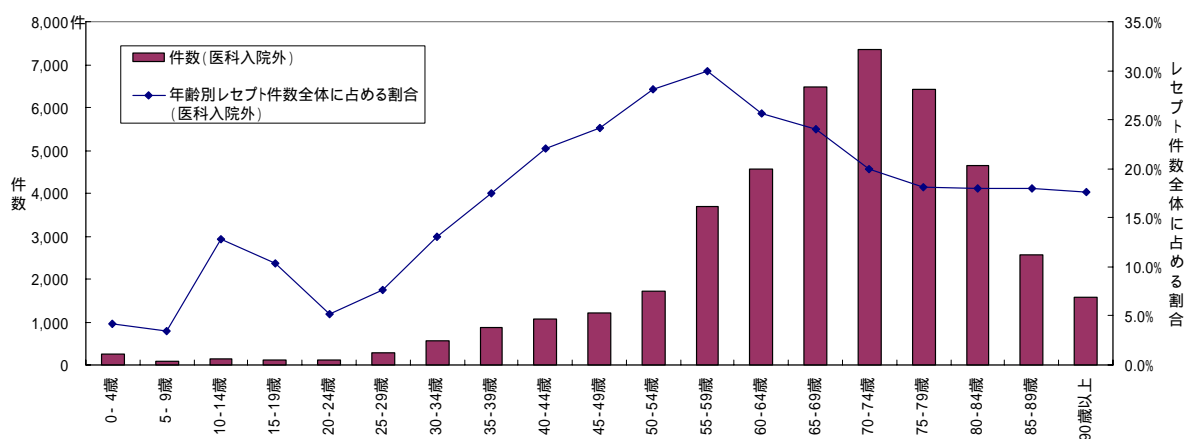
【B健保】



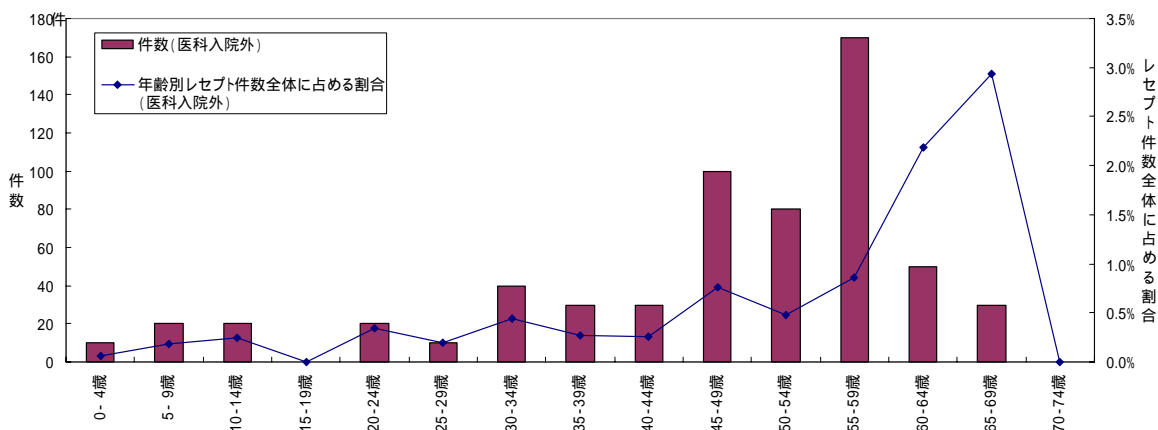
- 高額医療費レセプトについて医科入院外（10万円超）を年齢階級別にみると、国保は件数のピークが「70-74歳」に対して、件数割合のピークは「55-59歳」となっている。
- A共済は、件数のピークが「55-59歳」に対して、件数割合のピークは「65-69歳」となっている。B健保は、件数のピークが「55-59歳」に対して、件数割合のピークは「60-64歳」「80-84歳」となっている。

図表 3-6-4 高額医療費レセプト（10万円超）の年齢階級別件数・件数割合
（平成18年1ヶ月診療分 医科入院外）

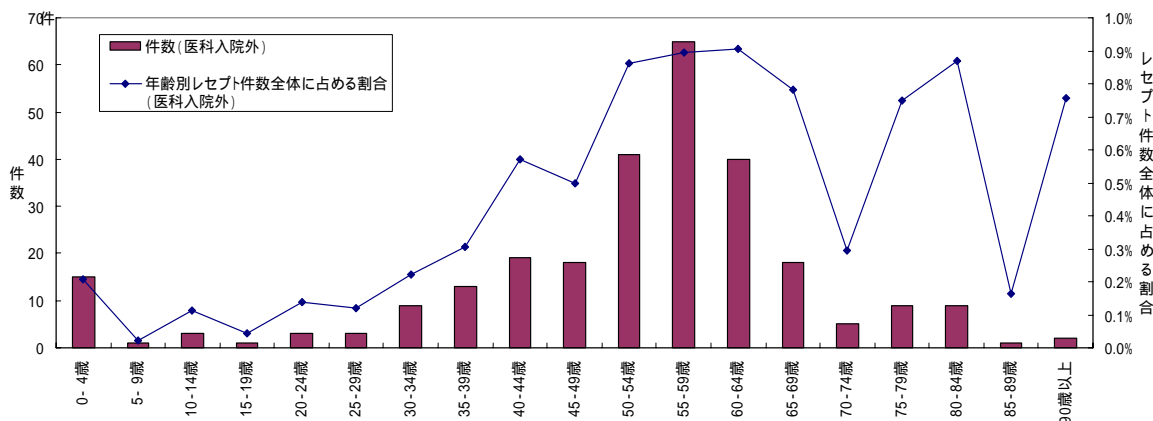
【国保】



【A共済】



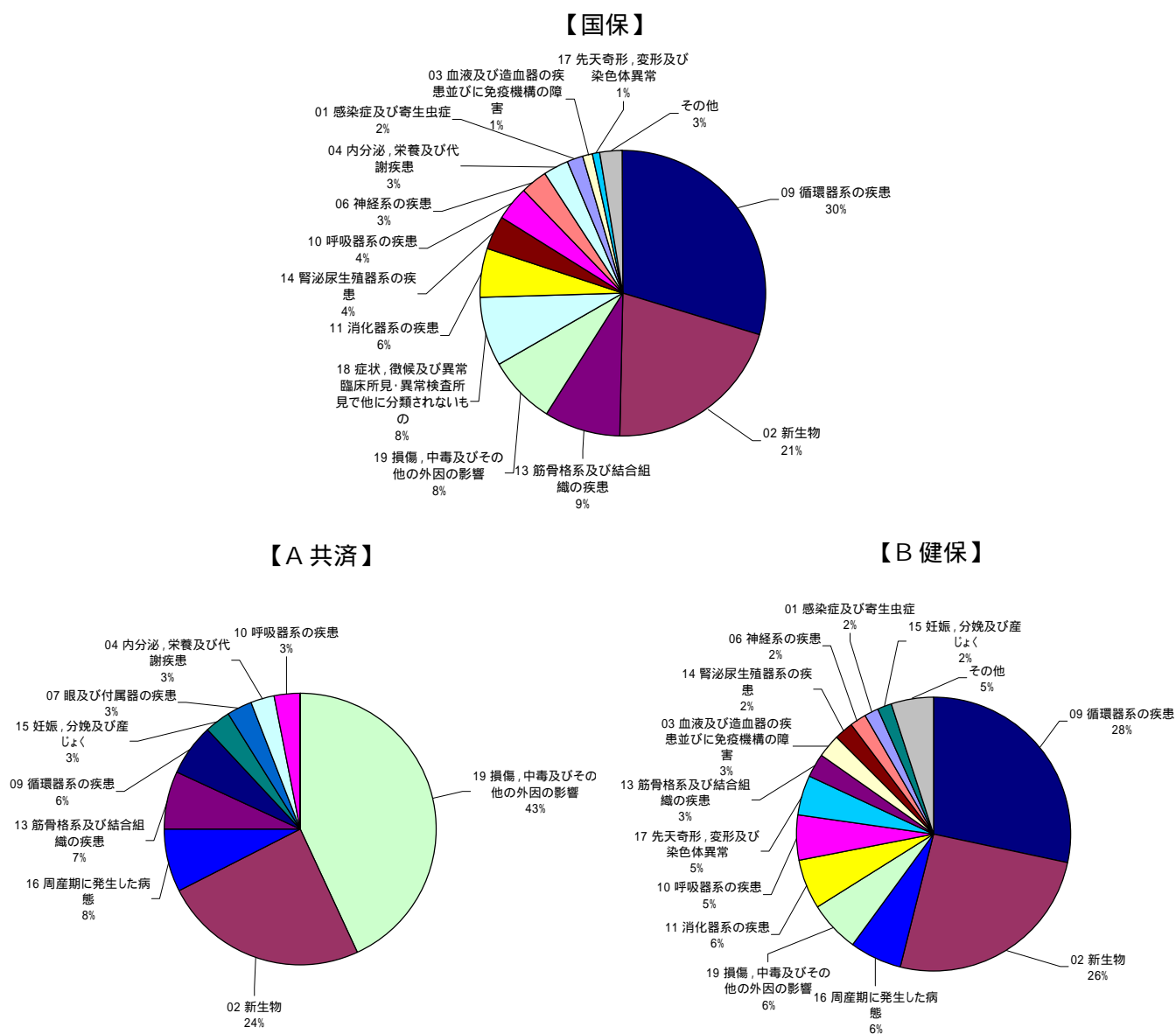
【B健保】



< 疾病大分類別に見た概況 >

- 疾病大分類別の高額医療費医科入院レセプトの医療費の構成をみると、国保は「循環器系疾患」が最も多く、全体の3割弱を占めている。次いで「新生物」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「損傷、中毒及びその他の外因の影響」が上位にある。
- A 共済では「損傷、中毒及びその他の外因の影響」、B 健保では「循環器系疾患」が最も多く、ついで「新生物」が共に上位にある。

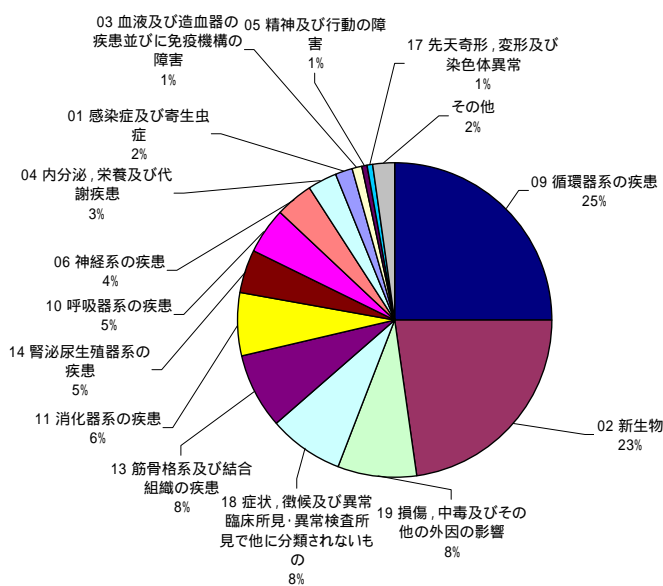
図表 3-6-5 高額医療費レセプト（80万円超）の医療費の構成
（平成18年1ヶ月診療分 医科入院）



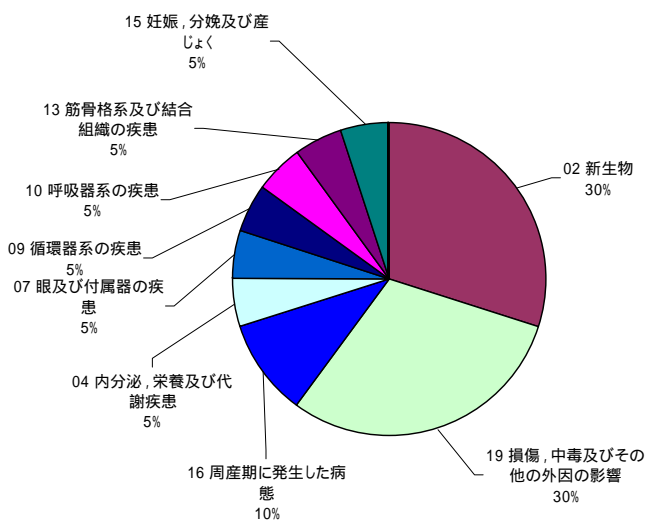
- 疾病大分類別の高額医療費医科入院レセプトの件数の構成をみると、国保は「循環器系疾患」が最も多く、全体の25%弱を占めている。次いで「新生物」「損傷、中毒及びその他の外因の影響」「筋骨格系及び結合組織の疾患」が上位にある。
- A 共済、B 健保共に「新生物」が最も多く、全体の約3割を占めている。

図表 3-6-6 高額医療費レセプト（80万円超）の件数の構成
（平成18年1ヶ月診療分 医科入院）

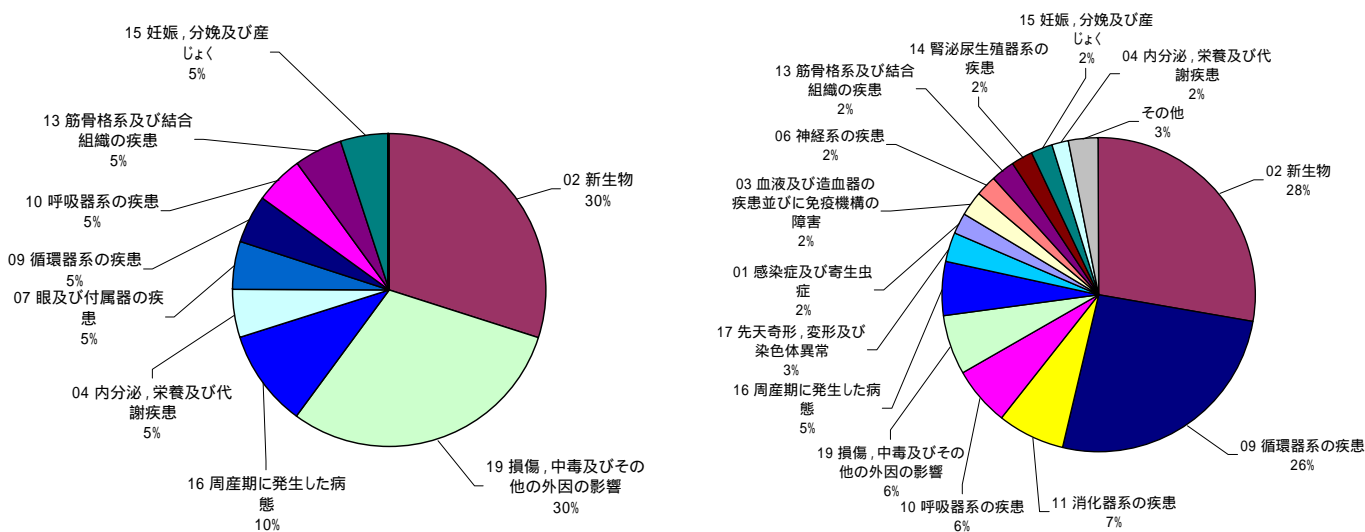
【国保】



【A 共済】



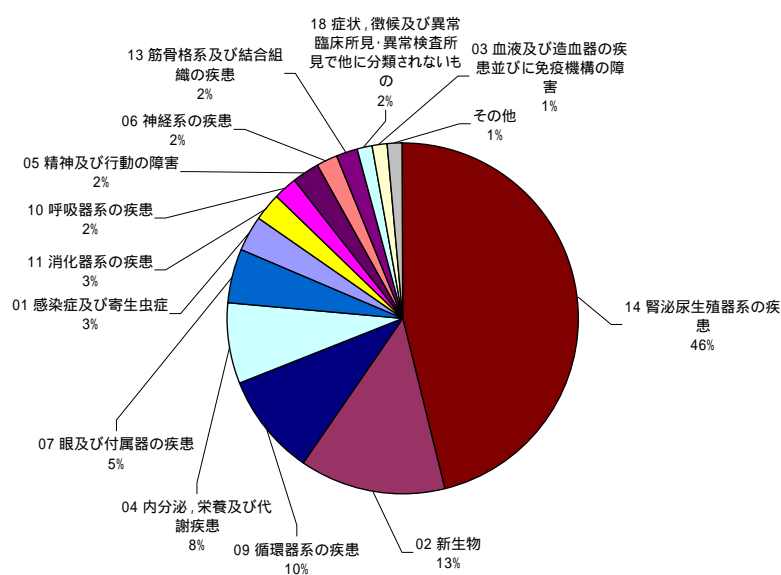
【B 健保】



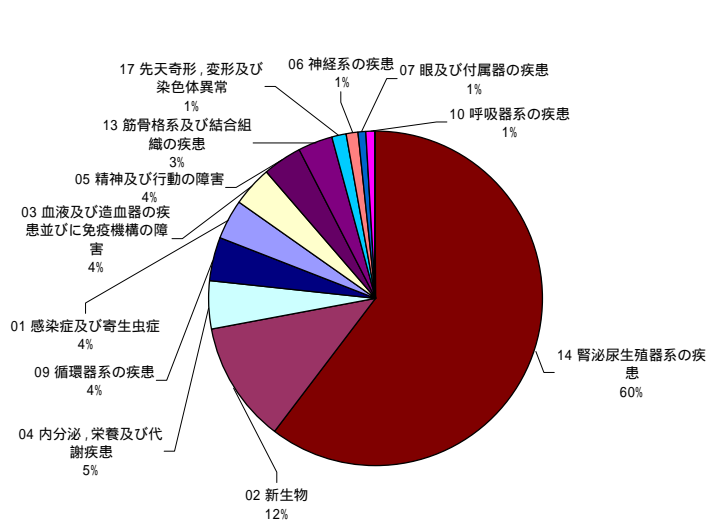
- 疾病大分類別の高額医療費医科入院外レセプトの医療費の構成をみると、いずれも「腎泌尿生殖器系の疾患」が最も多く、全体の4~6割を占めている。次いで「新生物」や「内分泌、栄養及び代謝疾患」等が上位にある。

図表 3-6-7 高額医療費レセプト（10万円超）の医療費の構成
（平成18年1ヶ月診療分 医科入院外）

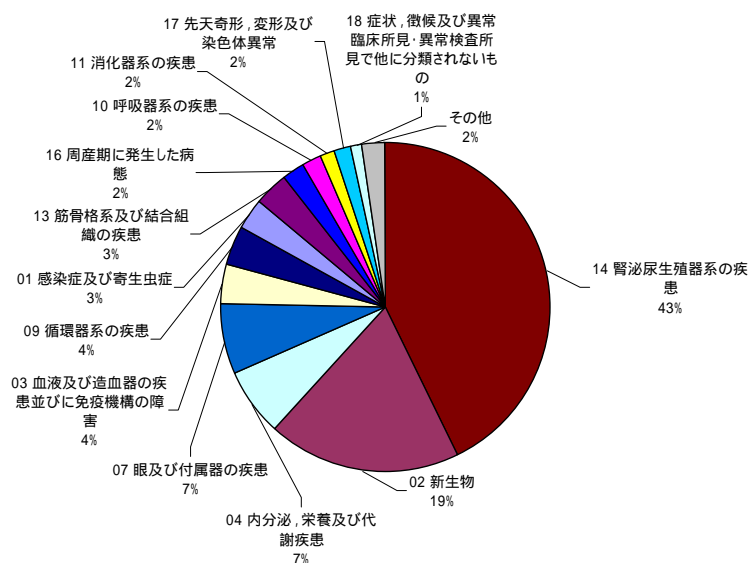
【国保】



【A 共済】



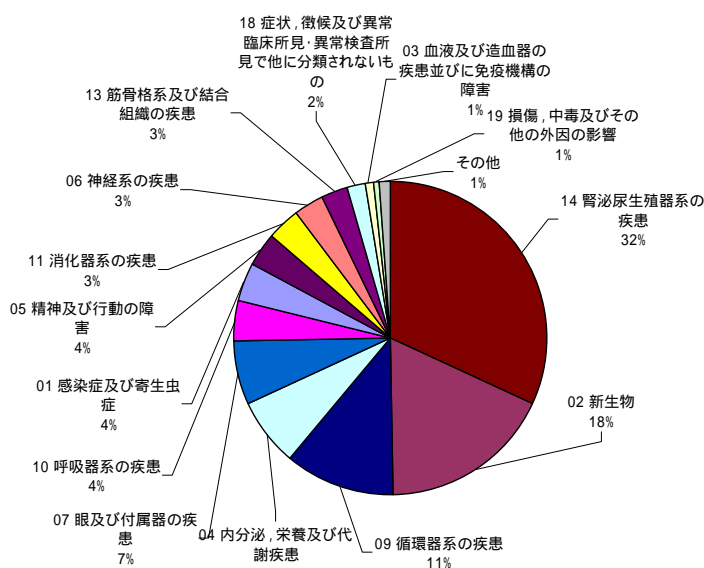
【B 健保】



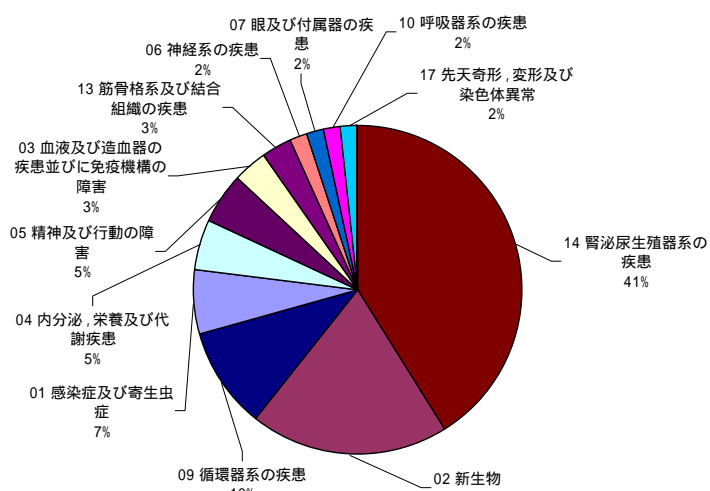
- 疾病大分類別の高額医療費医科入院外レセプトの件数の構成をみると、いずれも「腎泌尿生殖器系の疾患」が最も多く、全体の3～4割を占めている。次いで「新生物」が上位にある。

図表 3-6-8 高額医療費レセプト（10万円超）の件数の構成
（平成18年1ヶ月診療分 医科入院外）

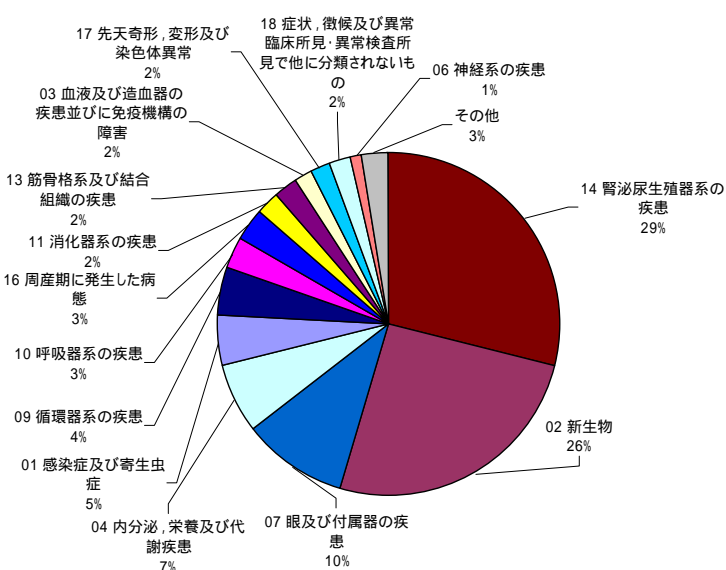
【国保】



【A 共済】



【B 健保】



< 疾病中分類別に見た概況 >

- 疾病中分類の 119 疾病別に高額医療費医科入院レセプトの医療費・件数をみると、国保は「虚血性心疾患」が最も多い。生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。
- A 共済では「その他の損傷及びその他の外因の影響」、B 健保では「その他の心疾患」が最も多い。ついで、共に「その他の悪性新生物」が上位になっている。

図表 3-6-9 高額医療費レセプト（80万円超）の医療費ランキング
（平成 18 年 1 ヶ月診療分 医科入院）

【国保】

NO	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり医療費	医療費占有率	件数	件数占有率
1	0902 虚血性心疾患	1,997,429,710	1,939,252	9.6%	1,030	7.0%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,594,432,730	1,384,056	7.7%	1,152	7.8%
3	0903 その他の心疾患	1,463,684,400	2,002,304	7.1%	731	4.9%
4	1901 骨折	1,158,379,250	1,298,631	5.6%	892	6.0%
5	0210 その他の悪性新生物	1,130,541,240	1,235,564	5.5%	915	6.2%
6	0906 脳梗塞	683,407,310	1,032,337	3.3%	662	4.5%
7	1402 腎不全	652,582,020	1,199,599	3.1%	544	3.7%
8	1112 その他の消化器系の疾患	632,713,780	1,257,880	3.1%	503	3.4%
9	0912 その他の循環器系の疾患	618,336,980	2,444,020	3.0%	253	1.7%
10	1302 関節症	558,821,850	1,751,793	2.7%	319	2.2%
11	0201 胃の悪性新生物	546,975,570	1,245,958	2.6%	439	3.0%
12	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	537,774,040	1,415,195	2.6%	380	2.6%
13	0211 良性新生物及びその他の新生物	470,164,100	1,420,435	2.3%	331	2.2%
14	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物	451,106,620	1,156,684	2.2%	390	2.6%
15	0606 その他の神経系の疾患	449,261,260	1,160,882	2.2%	387	2.6%

【A 共済】

NO	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり費用額	医療費占有	件数	件数占有率
1	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	71,420,500	2,380,683	25.8%	30	15.0%
2	0210 その他の悪性新生物	51,714,800	1,034,296	18.7%	50	25.0%
3	1903 熱傷及び腐食	27,670,800	2,767,080	10.0%	10	5.0%
4	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	21,121,300	1,056,065	7.6%	20	10.0%
5	1901 骨折	19,800,500	990,025	7.2%	20	10.0%
6	1301 炎症性多発性関節障害	19,446,200	1,944,620	7.0%	10	5.0%
7	0902 虚血性心疾患	16,229,700	1,622,970	5.9%	10	5.0%
8	0209 白血病	15,813,100	1,581,310	5.7%	10	5.0%
9	1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	8,885,600	888,560	3.2%	10	5.0%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	8,224,100	822,410	3.0%	10	5.0%
11	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	8,172,800	817,280	3.0%	10	5.0%
12	1007 慢性副鼻腔炎	8,094,300	809,430	2.9%	10	5.0%
13						
14						
15						

【B 健保】

NO	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり医療費	医療費占有	件数	件数占有率
1	0903 その他の心疾患	16,232,170	2,705,362	9.1%	6	4.7%
2	0210 その他の悪性新生物	14,834,100	1,236,175	8.3%	12	9.3%
3	0902 虚血性心疾患	14,252,390	1,781,549	8.0%	8	6.2%
4	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,935,610	1,655,935	5.6%	6	4.7%
5	0211 良性新生物及びその他の新生物	8,832,930	1,261,847	5.0%	7	5.4%
6	0906 脳梗塞	6,462,550	923,221	3.6%	7	5.4%
7	1701 心臓の先天奇形	6,093,960	3,046,980	3.4%	2	1.6%
8	0905 脳内出血	5,877,800	979,633	3.3%	6	4.7%
9	1901 骨折	5,707,780	1,141,556	3.2%	5	3.9%
10	0208 悪性リンパ腫	5,013,920	1,253,480	2.8%	4	3.1%
11	1011 その他の呼吸器系の疾患	4,943,720	988,744	2.8%	5	3.9%
12	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	4,928,190	1,642,730	2.8%	3	2.3%
13	1112 その他の消化器系の疾患	4,833,220	966,644	2.7%	5	3.9%
14	0202 結腸の悪性新生物	4,636,810	1,159,203	2.6%	4	3.1%
15	0209 白血病	3,885,430	1,942,715	2.2%	2	1.6%

- 疾病中分類の 119 疾病別に高額医療費医科入院外レセプトの医療費・件数をみると、いずれの保険者も「腎不全」が最も多い。生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。

図表 3-6-10 高額医療費レセプト（10万円超）の医療費ランキング
（平成 18 年 1 ヶ月診療分 医科入院外）

【国保】

NO	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり医療費	医療費占有率	件数	件数占有率
1	1402 腎不全	4,943,047,500	378,806.61	44.3%	13,049	29.8%
2	0402 糖尿病	639,978,690	273,963.48	5.7%	2,336	5.3%
3	0901 高血圧性疾患	624,201,880	266,866.99	5.6%	2,339	5.3%
4	0210 その他の悪性新生物	516,057,300	176,008.63	4.6%	2,932	6.7%
5	0206 乳房の悪性新生物	289,097,990	194,809.97	2.6%	1,484	3.4%
6	0702 白内障	242,264,450	202,562.25	2.2%	1,196	2.7%
7	0105 ウイルス肝炎	211,410,540	193,776.85	1.9%	1,091	2.5%
8	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	176,308,690	281,194.08	1.6%	627	1.4%
9	0703 屈折及び調節の障害	166,413,950	192,163.91	1.5%	866	2.0%
10	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	161,964,000	211,994.76	1.5%	764	1.7%
11	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物	148,856,100	186,770.51	1.3%	797	1.8%
12	0704 その他の眼及び付属器の疾患	140,565,080	177,481.16	1.3%	792	1.8%
13	0903 その他の心疾患	135,880,240	194,670.83	1.2%	698	1.6%
14	0202 結腸の悪性新生物	127,205,760	204,510.87	1.1%	622	1.4%
15	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	119,355,690	155,613.68	1.1%	767	1.8%

【A 共済】

NO	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり費用額	医療費占有	件数	件数占有率
1	1402 腎不全	110,731,900.00	442,927.60	60.4%	250	41.0%
2	0206 乳房の悪性新生物	7,921,500.00	198,037.50	4.3%	40	6.6%
3	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	6,409,800.00	320,490.00	3.5%	20	3.3%
4	0301 貧血	5,968,000.00	596,800.00	3.3%	10	1.6%
5	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新	4,848,100.00	242,405.00	2.6%	20	3.3%
6	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	4,622,600.00	462,260.00	2.5%	10	1.6%
7	0106 その他のウイルス疾患	3,744,200.00	187,210.00	2.0%	20	3.3%
8	0105 ウイルス肝炎	3,696,300.00	184,815.00	2.0%	20	3.3%
9	0902 虚血性心疾患	3,654,400.00	121,813.33	2.0%	30	4.9%
10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	3,335,900.00	333,590.00	1.8%	10	1.6%
11	0210 その他の悪性新生物	2,998,100.00	149,905.00	1.6%	20	3.3%
12	0903 その他の心疾患	2,976,700.00	148,835.00	1.6%	20	3.3%
13	0201 胃の悪性新生物	2,593,000.00	129,650.00	1.4%	20	3.3%
14	1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異	2,441,500.00	244,150.00	1.3%	10	1.6%
15	0402 糖尿病	2,086,100.00	208,610.00	1.1%	10	1.6%

【B 健保】

NO	疾病中分類	医療費(円)	1件当たり医療費	医療費占有	件数	件数占有率
1	1402 腎不全	28,583,290	381,111	42.3%	75	27.8%
2	0206 乳房の悪性新生物	5,482,740	195,812	8.1%	28	10.4%
3	0402 糖尿病	2,730,570	227,548	4.0%	12	4.4%
4	0210 その他の悪性新生物	2,266,640	174,357	3.4%	13	4.8%
5	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,238,970	559,743	3.3%	4	1.5%
6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	2,022,320	144,451	3.0%	14	5.2%
7	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,882,550	313,758	2.8%	6	2.2%
8	0105 ウイルス肝炎	1,687,770	153,434	2.5%	11	4.1%
9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物	1,551,710	172,412	2.3%	9	3.3%
10	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,506,970	188,371	2.2%	8	3.0%
11	0702 白内障	1,460,990	208,713	2.2%	7	2.6%
12	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1,107,690	553,845	1.6%	2	0.7%
13	1301 炎症性多発性関節障害	1,038,030	259,508	1.5%	4	1.5%
14	0903 その他の心疾患	1,035,630	258,908	1.5%	4	1.5%
15	1701 心臓の先天奇形	902,010	225,503	1.3%	4	1.5%

以上のように、保険者種別ごとに高額医療費の状況の比較を行ったが、次のようなことがいえるものと考えられる。

「保険者種別の疾病構造の比較」

【高額医療費の概況】

- ・ 各保険者における高額医療費レセプトの状況をみると、医科入院ではいずれの保険者でも件数割合は1割強、医療費割合は約4割となっており、一方、医科入院外では国保は件数割合は1.0%、医療費割合は2割程度、共済・健保は共に件数割合が約0.5%、医療費割合が1割強を占めている。

【疾病大分類別に見た特徴】

- ・ 各保険者における疾病大分類別の高額医療費レセプトの医療費の構成をみると、医科入院では、国保・健保は共に「循環器疾患」、共済は「損傷、中毒及びその他の外因の影響」が最も多く、次いでいずれの保険者でも「新生物」が上位にある。医科入院外では、いずれの保険者でも「腎泌尿生殖器系の疾患」が最も多く、次いで「新生物」が上位にある。

【疾病中分類別に見た特徴】

- ・ 疾病中分類の119疾病別に、高額医療費レセプトの上位15疾病の医療費をみると、医科入院では、国保は「虚血性心疾患」が最も多く、生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。共済では「その他の損傷及びその他の外因の影響」、健保では「その他の心疾患」が最も多い。一方、医科入院外では、いずれの保険者も「腎不全」が最も多く、生活習慣病関連の疾患が上位になる傾向がある。

